

## 設置計画の概要

事項	記入欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部の学科の設置
フリガナ	コリツダイガクホウジン カゴシマダイガク
設置者	国立大学法人 鹿児島大学
フリガナ	カゴシマダイガク
大学の名称	鹿児島大学 (Kagoshima University)
新設学部等において養成する人材像	<p><b>【法文学部】</b></p> <p>①養成する人材像 人文社会科学に関する基礎的体系的な知識の習得と、さらに文系理系にとらわれず自らの問題意識と関連した学問分野を横断した幅広い知識の習得を目指す。それらを通して、人と社会、人と文化に関する論理的・科学的な思考力・判断力・表現力を育み、幅広い視野の下で身につけた人文社会科学の素養を地域の問題発見と課題解決に活用できる人材を育成する。</p> <p>②教育上の目的 1. 学問を身につけ社会に貢献するために不可欠な幅広い教養と豊かな人間性を身につけるとともに、人文社会科学の各学問分野を学ぶための総合的な見方と基礎的知識を備え、理系を含む学問分野を横断した幅広い知識を習得する。 2. 人と社会、人と文化に関する論理的・科学的思考力を身につける。 3. 人文社会科学の知識を踏まえ、地域社会や国際社会における諸課題を適切に解決するための判断力を身につける。 4. 自ら習得した知識を自らの考えに則して他者に説得的に伝える能力を身につける。 5. 南九州特有の歴史・文化・社会や高度な専門的職業につながる分野についての知識を習得し、現場を熟知し、他者と協働し実践できる能力を備え、現場、地域社会および国際社会に積極的に貢献する「進取の精神」を身につける。</p> <p><b>【法経社会学科】</b></p> <p>①養成する人材像 法学、経済学を中心とした社会科学に関する基礎的体系的な知識及び学問分野を横断した幅広い知識を習得し、地域社会や国際社会における社会現象の中から解決すべき課題を発見、その課題解決に習得した社会科学その他の知識を積極的に活用できる人材を養成する。</p> <p>②教育上の目的 1. 法学、経済学を中心とした社会科学全般に関する基礎的知識と理系を含む学問分野を横断した幅広い知識を習得して、総合的な観察力を身につける。 2. 社会科学に関する論理的かつ科学的思考力を身につける。 3. 社会科学の知識と手法を踏まえ、地域社会や国際社会の諸課題を適切に解決できる判断力を身につける。 4. 社会科学の知識を活用した論理的な思考によって自らの考えをまとめ、これを他者にわかりやすく説明できる表現力を身につける。 5. 社会現象の中から解決すべき課題を発見し、多様な考えや視点を踏まえつつ、課題解決に向けたファシリテーション能力を備えるとともに、南九州を中心とした地域社会またはアジアを中心とした国際社会の発展に積極的に貢献する「進取の精神」を身につける。</p> <p>③卒業後の進路 国家・地方公務員、金融・サービス業、商社、保険業、法律専門職、NPO法人、NGO法人、コミュニティビジネス、社会教育関係、製造業、情報産業、各種団体</p> <p><b>【人文学科】</b></p> <p>①養成する人材像 人と文化に関する基礎的体系的な知識及び学問を横断した幅広い知識を習得し、地域特有の歴史・文化・環境を理解し、地域社会ひいては国際社会にも応用できる課題を発見、その課題解決に習得した人文社会科学その他の知識を積極的に活用できる人材を養成する。</p> <p>②教育上の目的 1. 人文学の各学問分野を学ぶための総合的な見方と基礎的知識を備え、理系を含む学問分野を横断した幅広い知識を習得する。 2. 人と文化に関する論理的・科学的思考力を身につける。 3. 人文学の知識を踏まえ、地域社会や国際社会における諸課題を適切に解決するための判断力を身につける。 4. 人文科学的知識を踏まえ、自らの考えを明確に伝えるプレゼンテーション力と、多様な考えや視点を理解し、協調できるコミュニケーション力を身につける。 5. 南九州特有の歴史・文化・環境や高度な専門職業につながる分野についての知識を習得し、現場を熟知し、他者と協働し実践できる能力を備え、職場、地域社会及び国際社会に積極的に貢献する「進取の精神」を身につける。</p> <p>③卒業後の進路 国家・地方公務員、金融・サービス業、製造業、情報産業、商社、保険業、マスコミ、メディア関連企業、文化財専門職、教員、学芸員、心理職公務員、病院・福祉施設等の心理職、営業・人事担当、NPO法人、NGO法人</p>

<p>既設学部等において養成する人材像</p>	<p><b>【法政策学科】</b></p> <p>①養成する人材像 行政・企業における法律専門家の育成と共に、多方面に応用可能なリーガル・マインド(法的思考能力)と政策立案能力を用いて、個人・家族・地域共同体・国家・国際社会の諸問題を解決することができる人材を養成する。</p> <p>②教育上の目的</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「進取の精神」を尊重し、幅広いレベル・アーツの素養、法学・政治学の基本的知識を有する。</li> <li>2. 法的基準に則して具体的事象をとらえ、公平性の観点から規則的に問題を処理するリーガル・マインド(法的思考能力)を有する。</li> <li>3. 多様な利害・立場・価値観の存在をふまえて社会の紛争や問題を多角的に分析し、解決する能力を有している。</li> <li>4. 必要な情報を収集・処理して政策を立案する能力、主体的に交渉・説得するコミュニケーション能力を有している。</li> <li>5. 国際社会や外国の制度・事情に関する基本的知識、一定の外国語能力を有し、グローバルな観点から諸問題について客観的に考える能力を有している。</li> <li>6. 法律行政の理論研究およびインターンシップを通じてキャリア(人生設計)意識を高め、地域・社会に貢献する能力を有している。</li> <li>7. 必修科目の「演習」・「課題研究」を習得し、自主的に選択したテーマに関する研究報告書を作成する能力を有している。</li> </ol> <p>③卒業後の進路 JA関係、生保・損保関係、金融関係、商社関係、建設業関係、製造業関係、情報・通信関係、法律事務所、公務員(地方・国家)、進学</p> <p><b>【経済情報学科】</b></p> <p>①養成する人材像 情報化と国際化の進展する経済社会のなかで、情報を創造的に活用できる人材、地域の発展に指導的な役割を果たす事ができる人材、および国際的視野から問題を発見し解決することができる人材を養成する。</p> <p>②教育上の目的</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済学、経営学、会計学、社会学に関する専門的な知識を習得する。</li> <li>2. 経済社会における諸課題を発見し、適切に分析・解決することができる。</li> <li>3. 企業や社会において、具体的な戦略や政策を立案・提案することができる。</li> <li>4. 専門的な情報処理技術を身につけ、情報を創造的に活用できる。</li> <li>5. 高いコミュニケーション能力を身につけ、自らの考えを適切に表現することができる。</li> <li>6. 自立的な学習を通じて、社会人として自覚を持ち責任を果たすことができる。</li> </ol> <p>③卒業後の進路 JA関係、運輸・通信関係、生保・損保関係、金融・証券関係、製造業関係、小売業関係、食品関係、公務員(地方・国家)、進学</p> <p><b>【人文学科】</b></p> <p>①養成する人材像 人間の思想と行動についての鋭い洞察力と日本及び世界の諸文化を正しく理解する能力をもち、現代社会に生ずる文化的・社会的諸問題に対処することのできる人材を養成する。</p> <p>②教育上の目的</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幅広い教養と健全な人間性を有し、人間・文化・社会について、長期的視野に立った批判的思考力を身につけている。</li> <li>2. 多角的な視点による高度な情報分析能力を有すると共に、国際社会で活躍できるコミュニケーション能力、自己表現能力を身につけている。</li> <li>3. 幅広いヴィジョンを持って異文化世界や地域社会の多様性を理解し、現代の複雑な諸問題を処理し、将来に向かって有効な提言を行える。</li> <li>4. 様々な職業現場に対応した実践力と問題解決能力を有し、高度な職業能力を有している。</li> <li>5. 人間と文化、メディアと現代文化、比較地域環境、日本とアジア、ヨーロッパ・アメリカ文化の各コースに応じた専門知識・技能を備えている。</li> </ol> <p>③卒業後の進路 マスコミ関係、運輸・通信関係、生保・損保関係、金融関係、製造業関係、食品関係、公務員(地方・国家)、進学</p>
<p>新設学部等において取得可能な資格</p>	<p><b>【法文学部 法経社会学科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校教諭一種(社会)、高等学校教諭一種(公民・商業)</li> <li>①国家資格、②資格取得可能、③卒業要件単位数に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> <li>・社会教育主事・社会福祉主事</li> <li>①国家資格、②資格取得可能、③社会教育主事資格関連科目の履修は必要だが資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul> <p><b>【法文学部 人文学科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校教諭一種(国語・社会・英語)、高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・英語)</li> <li>①国家資格、②資格取得可能、③卒業要件単位数に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> <li>・学芸員</li> <li>①国家資格、②資格取得可能、③学芸員資格関連科目の履修が必要だが資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> <li>・認定心理士</li> <li>①民間資格、②資格取得可能、③卒業要件単位数に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul>



## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 法経社会学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	初年次教育科目	初年次セミナーⅠ	1前	2			○								兼1	
		初年次セミナーⅡ	1後	2			○								兼1	
		大学と地域	1前・後	2			○								兼10	
		体育・健康科学理論	1後	1			○								兼2	
		体育・健康科学実習	1前	1					○						兼1	
		情報活用	1前	2			○								兼1	
	グローバル教育科目	英語ⅠA・英語ⅠB	1前	2			○								兼1	
		英語ⅡA・英語ⅡB	2後	2			○								兼1	
		異文化理解入門	1前	2			○								兼1	
	日本語・日本事情科目	日本語Ⅰ	1前		1		○								兼1	外国人留学生のみのみ
		日本語Ⅱ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみのみ
		日本語Ⅲ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみのみ
		日本語Ⅳ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみのみ
		日本事情A	1前		2		○								兼1	外国人留学生のみのみ
		日本事情B	1後		2		○								兼1	外国人留学生のみのみ
		日本事情C	2前		2		○								兼1	外国人留学生のみのみ
小計(16科目)	—	16	10	0	—				0	0	0	0	0	兼26	—	
初修外国語・社会科学分野)	初級独語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級仏語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級中国語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級韓国語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級独語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級仏語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級中国語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級韓国語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	小計(8科目)	—	0	16	0	—				0	0	0	0	0	兼8	—
共通教育科目(教養教育科目)	選択科目(人文・社会科学分野)	アラビア入門Ⅰ	1前		1		○								兼1	
		「生き方」としての宗教論	1前		2		○				1					
		稲盛和夫の経営哲学	1前		2		○								兼1	
		映画論	1前		2		○								兼1	
		関わりあいの心理学	1前		2		○								兼1	
		鹿児島から考える多文化共生	1前		2		○								兼1	
		鹿児島探訪—歴史—	1前		2		○								兼1	
		鹿児島の歴史地理	1前		2		○				1					
		合唱Ⅰ	1前		1		○								兼1	
		合奏演習Ⅰ	1前		1		○								兼1	
		キャリア・恋人・コミュニケーションの社会学	1前		2		○				1					
		グローバル人材育成(雲南)	1前		2		○					1				兼1
		言語と文化	1前		2		○					1				
		現代企業経営論	1前		2		○					1				
		現代の日本政治	1前		2		○									兼1
		行動科学	1前		2		○					1				
		国際経済学入門	1前		2		○					1				
		国際私法入門	1前		2		○					1				
		古代東アジアの王陵	1前		2		○									兼1
		司法制度論	1前		2		○					1				
		障害児教育入門	1前		2		○									兼1
		心理学概論	1前		2		○									兼1
		森林経済学Ⅰ	1前		2		○									兼1
		西洋史入門	1前		2		○					1				
		世界の中のイスラーム	1前		2		○									兼1
		大学の日本史	1前		2		○					1				
		地方自治体の課題と政策	1前		2		○						1			
		著作権とビジネスコンプライアンス	1前		2		○									兼1
		地理学	1前		2		○									兼1
		唐代の文学	1前		2		○				1					
日本国憲法	1前		2		○									兼3		
入門：起業のための人材育成Ⅱ	1前		2		○									兼1		
人間と環境の心理学	1前		2		○									兼1		





共通教育科目（教養教育科目）	教養活用科目	統合Ⅰ（課題発見）	女性学入門	1後	2				○										兼1
		進取の精神：その現在・過去・未来	1後	2					○										
			人生における出会いの意義と役割	1後	2				○										兼1
			全人的歯科医療実践学	1後	2				○										兼1
			大学生のための社会人基礎力入門	1後	2				○										兼1
			男女共同参画とキャリアデザイン	1後	2				○										兼1
			小計（30科目）	—	60	0	0		—		1	0	0	0	0			兼29	—
		統合Ⅱ（課題解決）	奄美の民俗文化	1前	2				○										兼1
			イスラームの多様性に学ぶ	1前	2				○										兼1
			稲盛和夫のリーダー論	1前	2				○										兼1
			かごしまフィールドスクール	1前	2				○										兼1
			鹿児島探訪－環境－	1前	2				○										兼1
			鹿児島探訪－文化－	1前	2				○		1								兼1
			環境と進化の科学	1前	2				○										兼1
			がんはなぜおこるのか	1前	2				○										兼1
			口と顔の科学	1前	2				○										兼1
			国際異文化交流Ⅰ	1前	2				○										兼1
			国際関係論	1前	2				○										兼1
			国際協力体験講座－タイコース－	1前	2				○										兼1
			国際協力体験講座－ミャンマーコース－	1前	2				○										兼1
			最先端医療を創出するバイオ研究	1前	2				○										兼1
			自然学校インターンシップⅠ	1前	2				○										兼1
			自然学校へ行こう！	1前	2				○										兼1
			実践キャリアデザイン	1前	2				○										兼1
			シラス地域学	1前	2				○										兼1
			滞在者のためのコミュニケーションスキル：中国編	1前	2				○										兼1
			短期派遣留学Ⅰ	1前	1					○									兼1
			短期派遣留学Ⅱ	1前	1					○									兼1
			地域環境論	1前	2				○										兼1
			地域防災学実践Ⅰ	1前	2				○										兼1
			南米における進取の気風研修計画	1前	2				○										兼1
			ピアカウンセリング入門	1前	2				○										兼1
			東アジア社会の共通課題は何か？	1前	2				○										兼1
			ヒトの身体の仕組みと働き	1前	2				○										兼1
			ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅰ	1前	2				○										兼1
			北米におけるグローバル人材育成	1前	2				○										兼1
			南太平洋多島域	1前	2				○										兼1
			屋久島の環境文化Ⅰ－植生－	1前	2				○										兼1
			屋久島の環境文化Ⅲ－産業－	1前	2				○										兼1
			有機農業Ⅰ 新しい食と農のかたち	1前	2				○										兼1
			有機農業Ⅲ 田んぼでアウトドア	1前	2				○										兼1
			留学生のための異文化理解	1前	2				○										兼1
			奄美の民俗文化	1後	2				○										兼1
			いのちと地域を守る防災学Ⅱ	1後	2				○										兼1
			英語によるグローバル人材育成	1後	2				○										兼1
			海外研修基礎コースinカリフォルニア	1後	2				○										兼1
			海外研修基礎コースin東南アジア	1後	2				○										兼1
			海外研修基礎コースinハワイ	1後	2				○										兼1
			鹿児島探訪－環境－	1後	2				○										兼1
			鹿児島探訪－循環型社会と世界遺産－	1後	2				○										兼1
			鹿児島探訪－地域産業－	1後	2				○										兼1
			鹿児島の四季 キャンパス俳句会	1後	2				○										兼1
			環境ビジネス2	1後	2				○										兼1
			九州の古墳文化	1後	2				○										兼1
			共生のためのフェア・トレード	1後	2				○										兼1
			共生のためのフェア・トレードⅡ	1後	2				○										兼1
			口と顔の科学	1後	2				○										兼1
			健康を創り、守る	1後	2				○										兼1
			国際異文化交流Ⅱ	1後	2				○										兼1
			国際感覚を持つバイテク人材育成	1後	2				○										兼1
			国際協力論	1後	2				○										兼1
			自己理解・他者理解と障害理解	1後	2				○										兼1
			自然学校インターンシップⅡ	1後	2				○										兼1
			自然環境保全と世界遺産	1後	2				○										兼1
			島のしくみ	1後	2				○										兼1
			短期派遣留学Ⅰ	1後	1					○									兼1
			短期派遣留学Ⅱ	1後	1					○									兼1
			地域就業キャリアデザイン	1後	2				○										兼1
			地域防災学実践Ⅱ	1後	2				○										兼1
			ピアカウンセリング入門	1後	2				○										兼1

共通教育科目 (教養教育科目)	教養活用科目	統合Ⅱ (課題解決)	ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅱ	1後	2			○										兼1				
			放射線の世界	1後	2			○											兼1			
			森・ひと・体験	1後	2			○										兼1				
			屋久島の環境文化Ⅱ-生き物-	1後	2			○										兼1				
			屋久島の環境文化Ⅳ-生活と文化-	1後	2			○										兼1				
			有機農業Ⅱ 有機農業入門	1後	2			○										兼1				
			留学生のための異文化理解	1後	2			○										兼1				
			小計(70科目)	—	136	0	0	—			1	0	0	0	0	0	0	兼69	—			
基礎	法文スタンダード科目	人文社会総合論		1前	2			○			8	7							オムニバス			
		小計(1科目)	—	—	2	0	0	—			8	7	0	0	0				—			
	学科共通科目	社会科学基礎演習		1前	2				○		8	7	1									
		社会科学基礎		1後	2			○		8	7									オムニバス		
		法学の基礎		1前		2		○		1	1									オムニバス		
		司法制度論		1前		2		○			1	1										
		憲法人権Ⅰ		1前		2		○				1										
		社会学概論		1前		2		○			1										兼1	
		都市社会学		1前		2		○														
		家族社会学		1後		2		○			1											
		社会教育概論		1後		2		○						1	2						オムニバス	
		地域社会を学ぶ		1後		2		○			5	3	2									
		企業論		1前		2		○			1											
		企業会計論		1後		2		○			1											
		ミクロ経済学Ⅰ		1前		2		○			1											
		ミクロ経済学Ⅱ		1後		2		○			1											
		マクロ経済学Ⅰ		1前		2		○			1											
		マクロ経済学Ⅱ		1後		2		○			1											
		統計作成論		1前		2		○			1											
		統計利用論		1後		2		○			1											
		経済学概論		1前		2		○						1								
		経済原論		1後		2		○			1											
		経済史入門		1前		2		○						1								
		哲学概論		1前		2		○														
		倫理学概説		1後		2		○														
	小計(23科目)	—	—	4	42	0	—				30	17	2	0	0			兼1	—			
	専門教育科目	法学コース科目	憲法人権Ⅱ		1後		2		○													
憲法統治				2前		2		○					1									
行政法総論Ⅰ				2前		2		○					1									
行政法総論Ⅱ				2後		2		○					1									
国家補償法				3前		2		○					1									
行政争訟法				3前		2		○					1									
地方自治法				3後		2		○					1									
公共法務論				3後		2		○					1									
行政学				2後		2		○														兼1
自治体政策論				2後		2		○						1								
政治学				2前		2		○					1									
政治史				2後		2		○					1									
刑法総論Ⅰ				2前		2		○						1								
刑法総論Ⅱ				2後		2		○						1	1							
刑法各論Ⅰ				2後		2		○						1	1							
刑法各論Ⅱ				3前		2		○						1	1							
刑事訴訟法Ⅰ				2後		2		○					1									
刑事訴訟法Ⅱ				3前		2		○					1									
刑事政策				2前		2		○														兼1
民法総則				1後		2		○							1							
物権法Ⅰ				2前		2		○						1								
物権法Ⅱ				2後		2		○						1								
債権法Ⅰ				2前		2		○														兼1
債権法Ⅱ				2後		2		○						1								
債権法Ⅲ				3前		2		○						1								兼1
家族法				2前		2		○							1							
環境法				2後		2		○						1								
社会保障法				2後		2		○						1								
労働法				3前		2		○						1								兼1
会社法Ⅰ				2後		2		○						1								
会社法Ⅱ				3前		2		○						1								
商取引法Ⅰ				3前		2		○						1								
商取引法Ⅱ				3後		2		○						1								
有価証券法				3後		2		○						1								
企業法務論		3後		2		○						1										
民事訴訟法Ⅰ		2後		2		○						1										
民事訴訟法Ⅱ		3前		2		○						1										
民事執行・保全法		3前		2		○						1										
倒産法		3後		2		○						1										
租税法		3前		2		○						1										
国際私法		2前		2		○							1	1								
国際取引法		2後		2		○							1	1								
国際法		2後		2		○								1								
国際関係論		2前		2		○						1										
英米法		2前		2		○						1										
外国法特論		2前		2		○						1										
外国書講読		2前		2		○						1	2									
法哲学		3後		2		○														兼1		
法史学		2前		2		○														兼1		



活用	経済コース科目	管理会計論	2後	2		○			1												
		経営情報論	2前	2		○			1												
		システム設計	2前	2		○					1										
		技術経営論	2後	2		○					1										
		情報ネットワーク論	2後	2		○					1										
		情報マネジメント	2前	2		○					1										
		商学総論	2後	2		○						1									
		職業指導	2後	2		○															
		特殊講義	2前	2		○															兼1
		国民経済計算	3前	2		○					1										
		社会と経済の統計	3後	2		○					1										
		日本経済論	3前	2		○						1									
		ファイナンス	3前	2		○															兼1
		金融政策論	3後	2		○															兼1
		農業政策論	3後	2		○					1										
		六次産業化論	3後	2		○					1										
		国際金融論	3前	2		○					1										
		アジア農村経済論	3後	2		○					1										
		環境経済学	3後	2		○							1								
		地域計量分析	3後	2		○					1										
地方財政論	3前	2		○					1												
行動経済学	3前	2		○							1										
意思決定論	3後	2		○							1										
環境経営論	3後	2		○					1												
地場産業企業論	3前	2		○							1										
財務会計論	3前	2		○							1										
経営分析	3後	2		○							1										
データベース論	3前	2		○					1												
システム監査論	3前	2		○					1												
システム監査実習	3後	1							1												
ベンチャー企業論	3前	2		○															1		
マーケティング論	3後	2		○															1		
外国書研究	3前	2		○							1										
小計(59科目)	—	0	117	0	—	—	—	—	12	8	1	0	0	兼5	—						
専門教育科目	法学コース科目	演習Ⅰ	3前	2			○		13	5											
		演習Ⅱ	3後	2			○		13	5											
		実践演習	2前	2			○		6	1											
		キャリア形成演習	2前	2			○		5												
		キャリア体験実習	3前	1				○	1	1											
	小計(5科目)	—	4	5	0	—	—	—	13	5	0	0	0							—	
	実践	地域社会コース科目	演習	2前・後	2			○		5	4	1									
			特殊研究	4後	6			○		5	4	1									
			社会教育演習Ⅰ	2前	2			○			1										
			社会教育演習Ⅱ	2後	2			○			1										
地域社会実習			3後	1				○	1												
社会教育実習Ⅰ			3後	1				○		1											
社会教育実習Ⅱ			3後	1				○		1											
社会教育実習Ⅲ			3後	1				○				1									
社会教育実習Ⅳ			3後	1				○				1									
エンドユーザ実習Ⅰ			1前	1				○	1	1											
エンドユーザ実習Ⅱ	1後	1				○	1	1													
エンドユーザ実習Ⅲ	1後	1				○	1	1													
実用英語	2前	2			○		1														
観光英語	3後	2			○		1												兼1		
小計(14科目)	—	11	13	0	—	—	—	5	4	1				兼1	—						
経済コース科目	経済コース科目	演習	2前・後	2			○		11	8	1										
		特殊研究	4後	6			○		11	8	1										
		エンドユーザ実習Ⅰ	1前	1				○	1	1											
		エンドユーザ実習Ⅱ	1後	1				○	1	1											
		エンドユーザ実習Ⅲ	1後	1				○	1	1											
		エンドユーザ実習Ⅳ	2前	1				○	1	1											
		エンドユーザ実習Ⅴ	2後	1				○	1	1											
		システム構築実習	2後	1				○	1												
		実用英語	2前	2			○		1												
		ビジネス英語	3後	2			○		1			1									
アクティブ・プログラム	2後	2			○		1														
小計(11科目)	—	11	9	0	—	—	—	12	8	1	0	0							—		
法文アドバンスト科目Ⅰ	法文アドバンスト科目Ⅰ	現代社会を探る	1前	2			○													兼1	
		地域科学特殊講義	2前	2			○		5	4										兼6	
		観光学	3前	2			○													兼1	
		島嶼ツーリズム論	4前	2			○													兼1	
		マスコミ論	2後	2			○													兼1	
		アジアの法と社会	4前	2			○													兼1	
		キャリア論	2後	2			○													兼1	
		アクティブ・ゼミ	4前・後	2				○	1	1											
		地域科学演習	3後	2				○	1	1											
		マスコミ論演習	3前	2				○	1	1											
		自治体政策総合講義	2後	2				○				1									
		まちづくり論	2後	2				○													
		地域心理支援論	2後	2				○						1							
		行政企業体験実習	3前・後	1																	
		海外異文化体験実習	3前	1																	
小計(15科目)	—	0	28	0	—	—	—	10	8	1	0	0	兼12	—							

専門教育科目	法文アドバンスト科目Ⅱ	自然科学から見る人・文化・社会	2前	2	○										兼1	
		水産学概論	3前	2	○											兼1
		日本水産業概論	3前	2	○											兼1
		水圏環境保全科学	2後	2	○											兼1
		科学ジャーナリズム	4前	2	○											兼1
		生命共生論	3後	2	○											兼1
		畜産科学概論	2後	2	○											兼1
		応用植物科学概論	2後	2	○											兼1
		食料生命科学序論	3前	2	○											兼1
		比較酒文化論	4前	2	○											兼1
	小計(10科目)	—	0	20	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	兼10	
教科に関する科目	政治史	2前	2	○			1									
	法史学	2後	2	○											兼1	
	日本経済史	2後	2	○				1								
	市民社会思想史Ⅰ	2前	2	○			1									
	市民社会思想史Ⅱ	2後	2	○			1									
	経済史入門	3後	2	○				1								
	歴史のなかの社会学	3後	2	○			1									
	司法制度論	1前	2	○					1							
	憲法統治	2前	2	○					1							
	憲法人権Ⅰ	1前	2	○					1							
	憲法人権Ⅱ	1後	2	○					1							
	行政法総論Ⅰ	2前	2	○					1							
	行政法総論Ⅱ	2後	2	○					1							
	国家補償法	3前	2	○					1							
	行政争訟法	3前	2	○					1							
	地方自治法	3後	2	○					1							
	政治学	2前	2	○				1								
	刑法総論Ⅰ	2前	2	○					1							
	刑法総論Ⅱ	2後	2	○					1							
	刑法各論Ⅰ	2後	2	○					1							
	刑法各論Ⅱ	3前	2	○					1							
	刑事訴訟法Ⅰ	2後	2	○				1								
	刑事訴訟法Ⅱ	3前	2	○				1								
	民法総則	1後	2	○					1							
	物権法Ⅰ	2前	2	○				1								
	物権法Ⅱ	2後	2	○				1								
	債権法Ⅰ	2前	2	○											兼1	
	債権法Ⅱ	2後	2	○				1								
	債権法Ⅲ	3前	2	○											兼1	
	家族法	2前	2	○					1							
	環境法	2後	2	○				1								
	社会保障法	2後	2	○				1								
	会社法Ⅰ	2後	2	○				1								
	会社法Ⅱ	3前	2	○				1								
	商取引法Ⅰ	3前	2	○				1								
	商取引法Ⅱ	3後	2	○				1								
	有価証券法	3後	2	○				1								
	民事訴訟法Ⅰ	2後	2	○				1								
	民事訴訟法Ⅱ	3前	2	○				1								
	民事執行・保全法	3後	2	○				1								
	倒産法	3後	2	○				1								
	租税法	3前	2	○				1								
	国際私法	2前	2	○						1						
	国際取引法	2後	2	○						1						
	国際法	2前	2	○						1						
	国際関係論	2前	2	○				1								
	英米法	3後	2	○				1								
	法哲学	2後	2	○											兼1	
	法社会学	1前	2	○				1								
	社会学概論	1後	2	○				1								
	経済学概論	2・3・4前	2	○						1						
	哲学概論	1後	2	○												
	倫理学概説	1前	2	○												
	マクロ経済学Ⅰ	1前	2	○				1								
	ミクロ経済学Ⅰ	1後	2	○				1								
	マクロ経済学Ⅱ	1後	2	○				1								
ミクロ経済学Ⅱ	1後	2	○				1									
経済原論	1前	2	○				1									
統計作成論	1後	2	○				1									
統計利用論	2前	2	○				1									
財政政策論Ⅰ	2前	2	○						1							
財政政策論Ⅱ	3前	2	○						1							
日本経済論	1後	2	○						1							
家族社会学	2後	2	○													
現代社会と地域社会	2前	2	○													
国際経済学Ⅰ	2後	2	○						1							
国際経済学Ⅱ	2前	2	○						1							



担う人材を育成することを強く要請するようになってきている。こうした現状の中、現在の法文学部組織ではその対応に限界があり、カリキュラムの変更というレベルでの対応では不十分な状況に立ち至った。こうした点に鑑み、法文学部は、人文社会科学系総合学部としての強みと特色を活かし、地域社会が抱える諸問題に対処できる人材を育成するべく学科組織を再編し、新たな学部組織を設置することとした。これまでの法政策学科、経済情報学科の2学科を社会科学系の総合学科として法経社会学科へと統合し、強みと特色を発揮するため、法学コース、経済コースを設置し、さらに地域の課題を社会科学的アプローチで解決する地域社会コースを置く。人文学科を再編し、グローバルな課題に積極的に対応し、人文科学的手法でその解決を目指す多元地域文化コースと地域の心理的課題に対応するための心理学コースを置く。

## 2. 学科の統合・再編と教育課程の再編

### (1) 総合学部に向けての再編

複合学部としての性格の残存する学部組織を大幅に見直し、人文社会科学系総合学部としての強みを明確に打ち出すために、これまでの法政策学科、経済情報学科、人文学科の3学科体制を見直し、新たに法経社会学科、人文学科の2学科体制に再編する。

### (2) 教育課程の再編

入学後の学生が、個別の専門領域の学修と総合的・横断的な学修との連関を明確に意識できるように、履修科目を、基礎から活用、実践の3段階に分類し、段階的履修が可能になるように整備した。これは、学部全体として入口・出口を有機的に関連させた段階的な履修体系の実現である。さらに、急激に変容する社会をしっかりと見通し、たくましく生き抜くために必要な諸能力を身に付けさせるため、人文社会科学系総合学部という特性を踏まえて、法文学部に所属する学生が共通に身につけるべき人文社会科学の基礎を学修する法文スタンダード科目を置き、狭い個別領域の学修に陥ることなく、広い視野と経験に裏打ちされた教育を実現するため、基礎的な知を応用展開し分野横断的・学際的・文理融合的な知を身につけることを目的とした法文アドバンスト科目を置く。

### (学科の統合・再編の必要性)

## 3. 鹿児島大学法文学部の現状

平成9年度の教養部廃止に伴う教育・研究組織の見直しを行って以降、法文学部においては、部分的な教育改革を行ってきたものの、社会の変容や学生のニーズに即した教育研究の見直しとそれに連動した組織改革を行ってこなかった。そのため、人文社会科学系総合学部としての性格を明確に打ち出すことができず、法・経・人文の3学科が個々に教育研究を展開する複合学部としての性格が濃厚であり、以下のような問題点を克服できない現状にある。

## 4. 鹿児島大学法文学部に求められているものと役割

鹿児島大学法文学部は、鹿児島県を含む南九州地域に根ざした人文社会科学系総合学部として、地元の多様な教育ニーズにตอบสนองすることが求められている。とくに、少子高齢化や過疎化が急激に進む南九州にあって、地域を熟知し、地域の活性化や再生を担う有為な人材の育成は急務である。そのため、人文社会科学分野の個別専門領域についての基本的な知識とともに、地域が抱える諸課題への理解力を身につけ、さらに思考力、判断力、表現力等の能力を兼ねそなえた実践的能動的人材を育成する役割を果たさねばならない。

こうした要請に応えるために、既存の法政策学科、経済情報学科を統合して法経社会学科とし、伝統的学問分野である法学コース、経済コースに加えて、地域の諸課題を社会科学的な手法で分析解決し、地域により密接に関わった実践的な学びによって地域づくりに貢献できる人材を養成する地域社会コースを新たに設置する。

また、人文学科に地域及び世界の多文化的文化・歴史・環境への深い造詣に基づき人文科学的手法を身に付けることにより、広い視野に立って、地域から見える課題、逆に国際的な視点から見える地域社会における課題を実践的に解決できる人材を養成する多元地域文化コースを人文学科に設置した。同時に、複雑化する現代社会のなかで人々の心の問題が深刻な社会問題ともなっていることから、人間の心と行動への深い造詣に基づき、心理的支援によって地域に貢献できる人材や、心理学の知見を活用し産業・行政分野で貢献できる人材を養成する必要性に応えるため、人文学科に新たに心理学コースを設置する。

### (本学に設置する必要性)

## 5. 法文学部の改組

### (1) 改組の目的

法文学部は、平成9年度の教養部廃止に伴い、大幅な改組を行い、法政策学科、経済情報学科、人文学科の3学科体制となった。その後、日本社会及び南九州地区は、少子高齢化・過疎化が大きく進み、また、グローバル化の進展により地域社会が大きな影響を受けることとなった。法文学部も、社会の変化に合わせ、教育カリキュラムの変更を行い、積極的に地域の求める人材養成の期待に応える努力を行ってきたが、教育カリキュラムの変更のみでは対応が難しい状況に立ち至った。また、この間、2つの専門職大学院の設置(司法政策研究科(平成16年度設置)、臨床心理学研究科(平成19年度設置))に協力するなかで、学部における法学及び心理学領域における教育・研究が脆弱なものとなった。こうした課題、問題点を克服するために、法文学部の教育・研究体制を全面的に見直し、従来の複合学部的な性格を脱するとともに、理系学部を多数有する鹿児島大学の強みをカリキュラムに活かし、人文社会科学系総合学部へと改組することとした。

### (2) 改組の骨格

従来の3学科(法政策学科、経済情報学科、人文学科)を2学科に再編する。司法政策研究科、教育学部及び学内共同教育施設からの教員の移籍、及び学長のリーダーシップの下での人員補充及び従来の学科人員の再配置を行い、社会科学系の1学科(法経社会学科)、人文科学系の1学科(人文学科)の2学科に編成する。

それぞれの学科の下に、学問体系と社会的なニーズに対応した5つのコース(法経社会学科3コース、人文学科2コース)を置く。法経社会学科の各コースの人材モデルとして、①法学コース 法学・政治学の知見と広範な視野を持ったゼネラリスト、②地域社会コース 地域で学び地域社会の理解を深め、地域づくりに貢献する人材、③経済コース 経済・経営・情報分野の基礎知識と専門知識を持ち、地域の企業や自治体において中核的立場で活躍できる人材を描いている。

人文学科の各コースの人材モデルとして、①多元地域文化コース 地域及び世界の多文化的文化・歴史・環境への深い造詣に基づき、広い視野に立って、地域社会と国際社会の課題を実践的に解決できる人材、②心理学コース 人間の心と行動への深い造詣に基づき、心理的支援によって地域に貢献できる人材、心理学の知見を活用し産業・行政分野で貢献できる人材を描いている。

## II. 教育課程編成の考え方・特色

### (教育課程の基本的な考え方)

#### 1. 段階的・総合的な人文社会科学教育

法文学部は、「南九州唯一の人文社会科学系総合学部として、総合的な観点から人間と社会を深く理解し、グローバル化のなかで急速に変容し様々な困難を抱えている地域社会に主体的積極的に貢献できる人材の育成を目指す」という教育理念のもと、段階的に教育を行うために、教育科目を学生が身につける能力に応じて「基礎」「活用」「実践」の三つの領域に区分する。

#### (1) 「基礎」領域

「基礎」領域は、3つの基礎的教育によって構成されている。

1) 第一の段階が「共通教育科目」であり、鹿児島大学としての基礎教育に当たる。これは、とくに「学び」の基本的スキルを身につける文理融合クラスをもって行う「初年次セミナー」等で大学での「学び」の基礎を修得する。共通教育科目においては、これまで必ずしも明確でなかった共通教育と専門教育の役割分担を明確化し、学生は、共通教育での基本的な学びのスキルの修得を踏まえたうえで、専門教育科目による人文社会科学の学修を進めることとなる。

- 2) 第二の段階が「法文スタンダード科目」であり、法文学部としての基礎教育に当たる。「法文スタンダード科目」(必修, 2単位)は、これまで人文科学と社会科学が個別に行っていた基礎教育を、人文社会科学系総合学部という特性を踏まえて、法文学部に所属する学生が共通に身につけるべき人文社会科学の基礎を学修する科目である。人文社会科学の個別専門領域学習の前提となる、人文社会科学のこれまでの歩みや考え方、今日的な課題との関係等を学ぶ。
- 3) 第三の段階が「学科共通科目」であり、法経社会学科、人文学科の基礎教育に当たる。法経社会学科では、「社会科学基礎」「地域社会を学ぶ」など社会科学の基礎科目を学修する。また、人文学科では、「人文科学基礎」「メディア史概説」など人文科学の基礎科目を学修する。

## (2)「活用」領域

活用領域では、コースに所属した学生が、個別専門領域の基本的な内容を学修しつつ、それらの内容が現在の社会や地域でどのような意味を持つのかを考える力を養う。

法経社会学科においては、

- 1) 法学コースでは、法学・政治学の知見と広範な視野を持ったゼネラリスト養成のために、法学・政治学の基本科目のほか、「公共法務論」「企業法務論」「司法政策論」などの科目を配置して、法学・政治学の基礎的知識を活用した課題発見能力、論理的な思考に基づく表現力、および、課題解決に向けた適切な判断・ファシリテーションを行うための素養を育成する。
- 2) 地域社会コースでは、地域社会の理解を深め、地域づくりに貢献できる人材養成のために、社会学・社会教育学の基本科目のほか、「多文化共生の地域づくり」「地域づくりとNPO」「自治体政策論」などの科目を配置し、地域社会が抱える諸課題を発見する能力とその解決のための住民参画による協働形成に向けたファシリテーション能力を育成する。
- 3) 経済コースでは、経済・経営・情報分野の基礎知識と専門能力を有する、地域の中核的人材を養成するために、経済学、経営学、情報科学の基本科目のほか、「地域計量分析」「地域計画論」「地場産業企業論」などの科目を配置し、企業や社会での諸活動において自らの考えを適切に表現する能力と、多様な考えや視点を理解し具体的な戦略や政策に向けて適切にファシリテートする能力を育成する。

## (3)「実践」領域

実践領域では、コースに所属した学生が、個別専門領域の学修を進めるに際して、プロジェクト等による他者との協働や実習による現場感覚の涵養を通して、修得した専門知を具体的な実践に結びつける能力を養う。

法経社会学科においては、

- 1) 法学コースでは、法学・政治学の知見と広範な視野を持ったゼネラリスト養成のために、「実践演習」「キャリア形成演習」などの科目を配置して、課題解決に向けた判断力・実践力、適切なファシリテーション能力を育成する。
- 2) 地域社会コースでは、地域社会の理解を深め、地域づくりに貢献できる人材養成のために、「地域社会実習」「実用英語」などの科目を配置する。
- 3) 経済コースでは、経済・経営・情報分野の基礎知識と専門能力を有する地域の中核的人材を養成するため「アクティブ・プログラム」「ビジネス英語」などの科目を配置する。

## (4)法文アドバンスト科目(活用・実践)

「活用」領域、「実践」領域にまたがる学部共通科目として、「法文アドバンスト科目」(選択必修, 6単位)を設定する。「法文アドバンスト科目」は、学生が狭い個別領域の学修に陥ることなく、広い視野を有し、経験に裏打ちされた知識を習得するための科目であり、基礎的な知を応用展開し分野横断的・学際的・文理融合的な知を身につけることを目的とする。

- 1) 地域特性を活かした特色ある科目  
「法文アドバンスト科目」では、豊かな自然や歴史遺産を有する鹿児島県の今後の発展のための重要領域に関する「観光学」や「島嶼ツーリズム論」、現場感覚を備えた地域貢献人材を育成するために自治体や地元企業等とも連携した「まちづくり論」「地域科学特殊講義」「マスコミ論」「マスコミ論演習」、特定の課題解決プロジェクトを内容とする「アクティブ・ゼミ」など、地域特性や革新的教育方法を取り入れた科目を提供する。
- 2) 理系科目の学修  
「法文アドバンスト科目II」では、「自然科学から見る人・文化・社会」や、理学部・農学部・水産学部等の理系学部の協力も得て、理系科目を提供する。法文アドバンスト科目は6単位の選択必修とするが、そのうち2単位以上は法文アドバンスト科目IIを履修することとし、学生は必ず理系科目からも単位を修得する。

## 2. 三つの学びの実現

法文学部の学生が、異なる学科、異なるコースに属しながらも、専門を深く学び、広い視野を身につけ、修得した知識を社会に活かすという三つの学びの要素(「深く学ぶ」、「広く学ぶ」、「学びを活かす」)を、共通教育科目と専門教育科目の有機的な連関のなかで実現する。「深く学ぶ」は「活用」領域に相当し、「広く学ぶ」は「基礎」領域に相当し、「学びを活かす」は「実践」領域と法文アドバンスト科目に相当する。

## 3. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応

法文学部は、ディプロマ・ポリシーとして以下の6項目を設定している。

- 1) 学問を身につけ社会に貢献するために不可欠な幅広い教養と豊かな人間性を身につけている。
  - 2) 人文社会科学の各学問分野を学ぶための総合的な見方と基礎的知識を備え、理系を含む学問分野を横断した幅広い知識を修得している。
  - 3) 人と社会、人と文化に関する論理的・科学的思考力を身につけている。
  - 4) 人文社会科学の知識を踏まえ、地域社会や国際社会における諸課題を適切に解決するための判断力を身につけている。
  - 5) 自ら修得した知識を自らの考えに則して他者に説得的に伝える能力を身につけている。
  - 6) 南九州特有の歴史・文化・社会や高度な専門的職業につながる分野についての知識を修得し、現場を熟知し、他者と協働し実践できる能力を備え、職場、地域社会および国際社会に積極的に貢献する「進取の精神」を身につけている。
- このような能力を身につけた人材を養成するために、1)2)に対応して「基礎」領域の科目が設定され、3)4)に対応して「活用」領域の科目が設定され、5)6)に対応して「実践」領域の科目が設定され、2)6)に対応して「法文アドバンスト科目」が設定されている。

## 4. 法文チャレンジ・プログラムの開設

自らの専門をさらに深めたい学生や自らが所属するコース以外の学問分野を積極的に学ぶ意欲のある学生に対して、4つの法文チャレンジ・プログラム(「司法チャレンジ・プログラム」「地域再生チャレンジ・プログラム」「異文化体験チャレンジ・プログラム」「心理学チャレンジ・プログラム」)を開設する。この科目群は、特定の学問分野について意欲的に学習することを希望する学生のために設定されたもので、卒業要件124単位を超えての学修となることもある。学生の負担を考慮して、一定の履修要件を備えていることを条件に認めるものである。

司法チャレンジ・プログラム		
分野	科目名	単位数
入 門	法学の基礎 ※	2
	司法制度論 ※	2
憲 法	憲法人権 I ※	2
	憲法人権 II ※	2
	憲法統治 ※	2
	行政法総論 I	2
行政法	行政法総論 II	2
	刑法総論 I	2
刑 法	刑法総論 II	2
	刑法各論 I	2
	刑法各論 II	2
	民法総則	2
民 法	物権法 I	2
	物権法 II	2
	債権法 I	2
	債権法 II	2
	債権法 III	2
	会社法 I	2
商 法	会社法 II	2
	商取引法 I	2
	刑事訴訟法 I	2
刑事訴訟法	刑事訴訟法 II	2
	民事訴訟法 I	2
民事訴訟法	民事訴訟法 II	2
	法政実践講義(模擬裁判)	2
実 践	法政実践講義(模擬交渉)	2

\* プログラム履修要件  
 ①この科目群から24単位以上修得すること  
 ②※印は基本科目なので、受講することが望ましい。

地域再生チャレンジ・プログラム		
科目群	科目名	単位数
基礎学習 科目	都市社会学	2
	地域社会を学ぶ	2
	コミュニティ論	2
	社会調査	2
	まちづくりを考える	2
	持続可能な地域づくりと教育	2
	地域づくりとNPO	2
	多文化共生の地域づくり	2
	自治体政策論	2
	芸術文化デザイン論	2
	地域計画論	2
	六次産業化論	2
	地域計量分析	2
	人文地理学概説	2
自然地理学概説	2	
地理学講義	2	
地誌学講義	2	
実地研究 科目	フィールド実習	1
	課題レポート作成	2

\* プログラム履修要件  
 ①基礎学習科目群の中から10科目(20単位)を選択し履修  
 ②実地研究科目としてプログラムで開講されるフィールド実習を受講  
 ③それぞれのテーマで課題レポートを作成する  
 ④①～③で合計23単位を修得する

5. 司法政策研究科の教育資産を継承・活用した法学教育の充実・強化

平成26年度の司法政策研究科の学生募集停止に伴い、同研究科が蓄積した法学教育の資産を継承・活用するため、法経社会学科法学コースを中心とした学士教育を充実・発展させるとともに、他コース・他学科の学生への法学関連授業の開放や司法チャレンジ・プログラムの開設を通して法文学部全体の法学教育の整備を進める。

6. 学科の教育課程の特徴

法経社会学科は、社会科学に関する基礎的体系的な知識の修得と、さらに文系理系に捉われず自らの問題意識と関連した学問分野を横断した幅広い知識の修得を目指す。それらを通して、人と社会に関する論理的・科学的な思考力・判断力・表現力を育み、幅広い視野の下で身につけた社会科学の素養を地域の問題発見と課題解決に積極的に活用できる人材の育成を目標とする。こうした教育目標を達成するために、社会科学分野を3つの領域に分け、法学コース・地域社会コース・経済コースの3コースを設置して、学生の教育・研究を行う。

法経社会学科では、すべてのコースに所属する学生に対して、1年次には、法文スタンダード科目である「人文社会総合論」を履修させ、人文科学と社会科学に跨がる基礎的な知識を修得させるとともに、学科共通科目としての「社会科学基礎」および「社会科学基礎演習」を履修させ、社会科学に共通の知識および研究の手法等を身につけさせる。さらに、すべての学生に、各コースの基礎科目および隣接するコースの基礎科目を選択必修科目として履修させることにより、専門基礎知識の定着をはかりつつ、隣接する社会科学分野の基礎的知見をも身につけさせる。また、自らの学問的関心や将来の進路に応じて、法文アドバンスト科目に配置された科目を履修させて、幅広い教養を身につけさせる。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通教育科目30単位、法文スタンダード科目2単位、法文アドバンスト科目6単位(うち、法文アドバンスト科目Ⅱから2単位以上を修得すること)、学科専門教育科目から以下の単位を修得し、合計124単位以上を修得すること(自由科目(他学科・他学部)を6単位まで含めることができる)。 (履修科目の登録上限:50単位(年間)) ○法学コース ・学科共通科目から必修4単位、選択必修6単位以上を修得すること。 ・法学コース科目から62単位以上を修得し、そのうち、「演習Ⅰ・Ⅱ」を8単位修得すること。 たゞし、このうち4単位は「実践演習」をもって充てることができる。 ○地域社会コース ・学科共通科目から必修4単位、選択必修6単位以上を修得すること。 ・専門科目の必修科目17単位、専門科目の選択科目から53単位以上を修得すること。 ○経済コース ・学科共通科目から必修4単位、選択必修6単位以上を修得すること。 ・専門科目の必修科目17単位、専門科目の選択科目から53単位以上を修得すること。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業期間	90分

法学コース 公共政策法モデル 履修例

共通・専門教育	科目別	必修 選択必修 選択	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数  修得単位数
			学習内容				
共通教育科目	初年次教育科目	必修	初年次セミナーⅠ				2
			初年次セミナーⅡ				2
			大学と地域				2
			体育・健康(理論)				1
			体育・健康(実習)				1
			情報活用				2
	グローバル教育科目	必修	英語				4
			異文化理解				2
	教養基礎科目	選択必修	初修外国語				4
		選択	人文・社会の教養基礎科目				2
			自然科学の教養基礎科目				2
			自然科学の教養基礎科目				2
	教養活用科目	選択	統合Ⅰ(課題発見)				2
			統合Ⅰ(課題解決)				2
基礎	学部スタンダード科目	必修	人文社会総合論				2
		必修	法経基礎演習 法経総合講義				2 2
	学科共通科目	選択必修 ※1	法学の基礎				6
			司法制度論				
			憲法人権Ⅰ				
	学部アドバンスト科目Ⅰ	選択必修	自治体政策総合講義	行政企業体験実習			4
		学部アドバンスト科目Ⅱ	選択必修				4
活用	コース科目	選択	憲法人権Ⅱ	行政法総論Ⅰ	債権法Ⅲ		60
			憲法統治	行政法総論Ⅱ	国家補償法		
			物権法Ⅰ		行政争訟法		
			物権法Ⅱ		地方自治法		
			債権法Ⅰ		租税法		
			債権法Ⅱ		公共法務論		
			政治学				
			政治史				
			社会保障法				
			環境法				
			自治体政策論				
			統計学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ	財政政策論Ⅰ		
			統計学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅱ	財政政策論Ⅱ		
				マクロ経済学Ⅰ	公共経済学		
				マクロ経済学Ⅱ			
				自治体政策論			
実践	コース科目	選択	キャリア形成演習(行政職)				
		必修		演習	演習	8	
	自由科目	選択		説得・交渉心理学			2

総単位数 120

※1 学科基礎科目については、この科目群から6単位以上修得しなければならない。

※2 自由科目として他学科開講科目を履修し、修得した単位を6単位まで卒業要件単位数に含めることができる。

法学コース 国際企業取引法モデル 履修例

共通・専門教育	科目別	必修 選択必修 選択	学習内容				単位数  修得単位数	
			1年次	2年次	3年次	4年次		
共通教育科目	初年次教育科目	必修	初年次セミナー I				2	
			初年次セミナー II				2	
			大学と地域				2	
			体育・健康(理論)				1	
			体育・健康(実習)				1	
			情報活用				2	
	グローバル教育科目	必修	英語				4	
			異文化理解				2	
	教養基礎科目	選択必修	初修外国語				4	
		選択	人文・社会の教養基礎科目				2	
			自然科学の教養基礎科目				2	
	教養活用科目	選択	統合 I (課題発見)				2	
統合 I (課題解決)						2		
専門教育科目	基礎	学部スタンダード科目	必修	人のこころと社会のしくみ			2	
			必修	法経基礎演習 法経総合講義			2	
		学科共通科目	選択必修※1	法学の基礎				6
				司法制度論				
				憲法人権 I				
	活用	学部アドバンスト科目 I	選択必修		アジアの法と社会	海外企業体験実習		4
				学部アドバンスト科目 II				4
		コース科目	選択	憲法統治	物権法 I	会社法 II		58
				民法総論	物権法 II	債権法 III		
					債権法 I	商取引法 I		
					債権法 II	商取引法 II		
				会社法 I	有価証券法			
				国際取引法	企業法務論			
				国際私法	租税法			
				英米法	国際法			
				外国法特論	国際人権法			
				国際関係論				
				国際経済学 I	六次産業化論			
				国際経済学 II	国際金融論			
	東南アジア経済論	ビジネスエコノミクス						
	国際経営論							
実践	コース科目	選択	法制実践講義(海外研修)					
		必修		演習	演習	8		
	自由科目	選択	消費者心理学	産業・組織心理学		4		

総単位数 120

※1 学科基礎科目については、この科目群から6単位以上修得しなければならない。

※2 自由科目として他学科開講科目を履修し、修得した単位を6単位まで卒業要件単位数に含めることができる。

法学コース 司法モデル 履修例

共通・専門教育	科目別	必修 選択必修 選択	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数
			学習内容				
			共通教育により大学での学びの基礎を身につけるとともに、学部共通科目によって人文社会科学の諸分野の全体像と地域との関わりについて把握する。	学科・専攻基礎科目によって学修する専門領域の基礎を築くとともに、学部展開科目によって問題意識を持って関連する他領域の知識を習得する。	専門や副専攻の学修を通して、論理的・科学的思考力、実践的判断力及び説得的表現力を向上させる。	これまで学んだことを活用して演習に取り組み、課題解決能力を身につける。	修得単位数
共通教育科目	初年次教育科目	必修	初年次セミナーⅠ				2
			初年次セミナーⅡ				2
			大学と地域				2
			体育・健康(理論)				1
			体育・健康(実習)				1
			情報活用				2
	グローバル教育科目	必修	英語				4
			異文化理解				2
	教養基礎科目	選択必修	初修外国語				4
		選択	人文・社会の教養基礎科目				2
自然科学の教養基礎科目						2	
教養活用科目	選択	統合Ⅰ(課題発見)				2	
		統合Ⅰ(課題解決)				2	
基礎	学部スタンダード科目	必修	法文基礎				2
	学科共通科目	必修	法経基礎演習				2
			法経総合講義				2
		選択必修※1	法学の基礎				6
	司法制度論						
憲法人権Ⅰ							
専門教育科目	学部アドバンスト科目Ⅰ	選択必修					66
	学部アドバンスト科目Ⅱ	選択必修					
	コース科目	選択	憲法統治	行政法総論Ⅰ	国家補償法	倒産法	
			民法総論	行政法総論Ⅱ	行政争訟法	執行保全法	
				刑法総論Ⅰ	刑事訴訟法Ⅱ		
				刑法総論Ⅱ	債権法Ⅱ		
				刑法各論Ⅰ	債権法Ⅲ		
				刑事訴訟法Ⅰ	会社法Ⅱ		
				物権法Ⅰ	商取引法Ⅰ		
				物権法Ⅱ	有価証券法		
				債権法Ⅰ	民事訴訟法Ⅱ		
				会社法Ⅰ	司法政策論		
				民事訴訟法Ⅰ			
				家族法			
				法社会学			
	多文化共生の地域づくり	マーケティング論					
実践	選択		キャリア形成演習(法律専門職)	法政実践講義(模擬交渉)			
			法政実践講義(法情報論)	法政実践講義(模擬裁判)			
	必修		演習	演習	8		
	自由科目※2	選択				0	

総単位数 116

※1 学科基礎科目については、この科目群から6単位以上修得しなければならない。  
 ※2 自由科目として他学科開講科目を履修し、これによって修得した単位を6単位まで卒業要件単位数に含めることができる。

地域社会コース 地域社会の協働形成を学ぶ履修例

専門教育	科目別	必修 選択必修 選択	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数		
			学習内容						
専門教育	科目別	必修 選択必修 選択	共通教育により大学での学びの基礎を身につけるとともに、学部共通科目によって人文社会科学の諸分野の全体像と地域との関わりについて把握する。	学科・専攻基礎科目によって学修する専門領域の基礎を築くとともに、学部展開科目によって問題意識を持って関連する他領域の知識を習得する。	専門や副専攻の学修を通して、論理的・科学的思考力、実践的判断力及び説得的表現力を向上させる。	これまで学んだことを活用して演習に取り組み、課題解決能力を身につける。	最低単位数		
共通教育科目	初年次教育科目	必修	初年次セミナーⅠ				2		
			初年次セミナーⅡ				2		
			大学と地域				2		
			体育・健康(理論)				1		
			体育・健康(実習)				1		
	グローバル教育科目	必修	情報活用				2		
			英語				4		
	教養基礎科目	選択必修	異文化理解				2		
			初修外国語 中国語				4		
		選択	人文・社会 鹿児島から考える多文化共生				2		
自然 遊びと科学						2			
教養活用科目	選択	自然 スポーツサイエンス				2			
		統合Ⅰ(課題発見) グローバル社会を生きる				2			
専門教育科目	基礎	学科共通科目	統合Ⅱ(課題解決) 国際異文化交流Ⅰ				2		
			人文社会総合論				2		
	活用	必修	社会科学基礎演習				2		
			社会科学基礎				2		
			選択必修※1	社会教育概論				10	
				社会学概論					
				地域社会を学ぶ					
				企業論					
	活用	選択	統計作成論						
			法文アドバンスト科目Ⅰ	選択必修	人文社会総合論	まちづくり論	地域科学特殊講義	6	
			法文アドバンスト科目Ⅱ	選択必修	社会科学から見る人・文化・社会	自然科学から見る人・文化・社会			
			コース科目	選択	生涯教育概論(4)		成人教育論		現代社会と地域社会
					子ども・若者の社会参画		社会教育と地域創造の関わりを学ぶ		行政学
					持続可能な地域づくりと教育		環境教育論		環境経営論
					ファシリテーションの基礎		青年の主体形成論		
					地域づくりとNPO		人権教育と平和		
					福祉と地域の社会学		コミュニティ論		
					社会調査		多文化共生の地域づくり		
	自治体政策論				意思決定論				
	経営戦略論		環境経済学						
経営組織論		図書館論							
実践	必修	エンドユーザ実習Ⅰ	演習	演習		特殊研究			
		エンドユーザ実習Ⅱ							
		エンドユーザ実習Ⅲ							
自由科目※2	選択	社会教育演習Ⅰ		社会教育演習Ⅱ					
		文化人類学概説				アジア歴史・文化研究A			
総単位数							125		
法文チャレンジ・プログラム	異文化体験チャレンジ・プログラム	選択	東洋史概説A 文化人類学概説 多文化交流論	多文化共生の地域づくり アジア農村経済論 文化人類学研究 メディア史概説	アジア歴史・文化研究A アジア言語研究A		18		
		必修		海外異文化体験実習			2		

※1 学科基礎科目については、指定された科目群から6単位以上修得しなければならない。  
 ※2 自由科目として他学科開講科目を履修し、これによって修得した単位を6単位まで卒業要件単位数に含めることができる。  
 ※3 チャレンジ・プログラムの赤字科目は卒業要件科目に含まれる  
 ※4 「社会教育主事」「社会福祉主事」の取得を希望する学生はこれに加えて「社会教育計画論Ⅰ」「社会教育計画論Ⅱ」「スポーツ施設論」などを履修することができる

地域社会コース 地域社会の課題発見を学ぶ履修例

専門教育	科目別	必修 選択必修 選択	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数  最低単位数	
			学習内容					
共通教育科目	初年次教育科目	必修	初年次セミナーⅠ				2	
			初年次セミナーⅡ				2	
			大学と地域				2	
			体育・健康(理論)				1	
			体育・健康(実習)				1	
	グローバル教育科目	必修	情報活用				2	
			英語				4	
	教養基礎科目	選択必修	異文化理解				2	
			初修外国語(ドイツ語)				4	
		選択	人文・社会 社会学の世界				2	
			自然 地震と火山				2	
	教養活用科目	選択	自然 科学技術論				2	
			統合Ⅰ(課題発見) 防災フィールドワーク				2	
			統合Ⅱ(課題解決) 地域環境論				2	
	専門教育科目	基礎	法文総合基礎	必修	人文社会総合論			2
学科共通科目			必修	社会科学基礎演習				2
		社会科学基礎					2	
		選択必修※1	社会学概論				10	
			都市社会学					
			地域社会を学ぶ					
企業論								
統計作成論								
活用		法文総合展開Ⅰ	選択必修		まちづくり論	地域科学特殊講義		6
				法文総合展開Ⅱ	選択必修	自然科学から見る人・文化・社会		
		コース科目	選択		社会的コミュニケーション論	社会問題と社会意識	現代社会と地域社会	50
					福祉と地域の社会学	歴史の中の社会学	行政学	
					社会調査	コミュニティ論	公共経済学	
					比較地域文化論	まちづくりを考える		
					芸術文化デザイン論	比較地域社会論		
					自治体政策論	アートマネジメント論		
					持続可能な地域づくりと教育	環境教育論		
					地域づくりとNPO	多文化共生の地域づくり		
					ファシリテーションの基礎	意思決定論		
					経営戦略論	経営情報論		
		経営組織論	地域計画論					
実践	コース科目	必修	エンデュラザ実習Ⅰ	演習	演習	特殊研究	20	
			エンデュラザ実習Ⅱ					
エンデュラザ実習Ⅲ								
	自由科目※2	選択		実用英語	地域社会実習		2	
総単位数							124	
法文チャレンジ・プログラム	異文化体験チャレンジ・プログラム	選択		東洋史概説A 文化人類学概説 多文化交流論	多文化共生の地域づくり アジア農村経済論 文化人類学研究 メディア史概説	アジア歴史・文化研究A アジア言語研究A	18	
		必修			海外異文化体験実習		2	

※1 学科基礎科目については、指定された科目群から6単位以上修得しなければならない。

※2 自由科目として他学科開講科目を履修し、これによって修得した単位を6単位まで卒業要件単位数に含めることができる。

※3 チャレンジ・プログラムの赤字科目は卒業要件科目に含まれる

経済コース 地域再生のための政策立案能力を育成する履修例

共通・専門教育	科目別	必修 選択必修 選択	学習内容				単位数  最低単位数
			1年次	2年次	3年次	4年次	
共通教育科目	初年次教育科目	必修	初年次セミナーⅠ				2
			初年次セミナーⅡ				2
			大学と地域				2
			体育・健康(理論)				1
			体育・健康(実習)				1
	グローバル教育科目	必修	英語				4
			異文化理解				2
	教養基礎科目	選択必修	初修外国語				4
		選択	人文・社会の教養基礎科目				2
			自然科学の教養基礎科目				2
教養活用科目	選択	統合Ⅰ(課題発見)				2	
		統合Ⅰ(課題解決)				2	
基礎	法文スタンダード科目	必修	人文社会総合論				2
			法経基礎演習				2
	学科共通科目	選択必修※1	法経総合講義				2
			ミクロ経済学Ⅰ				14
			ミクロ経済学Ⅱ				
			マクロ経済学Ⅰ				
			マクロ経済学Ⅱ				
			統計形成論				
			統計利用論				
			商業簿記				
活用	法文アドバンスト科目Ⅰ	選択必修		まちづくり論	地域科学特殊講義		
	法文アドバンスト科目Ⅱ	選択必修		都市計画			
	コース科目	選択		経済学と数学	金融システム論		52
				数理統計論	地域計画論		
				金融論	農業政策論	日本経済論	
				経済政策論Ⅰ	国際貿易投資論Ⅰ	六次産業化論	
				経済政策論Ⅱ	国際貿易投資論Ⅱ	経済地理学	
				財政政策論Ⅰ	環境経済学	自治体政策論	
				財政政策論Ⅱ	地域計量分析	ファイナンス	
				国際経済学Ⅰ	地方財政論		
			国際経済学Ⅱ	コミュニティ論			
			公共経済学	地方自治法			
実践	コース科目	選択		フィールド実習			
		必修		演習	演習	特殊研究	14
	自由科目※2	選択		人文地理学概説			2

※2 自由科目として他学科開講科目を履修し、これによって修得した単位を6単位まで卒業要件単位数に含めることができる。

総単位数 124

法文チャレンジ・プログラム	地域再生チャレンジ・プログラム	選択		社会調査 地域づくりとNPO 自治体政策論 人文地理学概説	コミュニティ論 まちづくりを考える 地域計画論 六次化産業論 地域計量分析	地理学講義	20
		必修			フィールド実習 課題レポート作成		3

経済コース 地域再生のためのマネジメント能力を育成する履修例

共通・専門教育	科目別	必修 選択必修 選択	学習内容				単位数  最低単位数	
			1年次	2年次	3年次	4年次		
共通教育科目	初年次教育科目	必修	初年次セミナーⅠ				2	
			初年次セミナーⅡ				2	
			大学と地域				2	
			体育・健康(理論)				1	
			体育・健康(実習)				1	
	グローバル教育科目	必修	情報活用				2	
			英語				4	
	教養基礎科目	選択必修	異文化理解				2	
			初修外国語				4	
		選択	人文・社会の教養基礎科目				2	
教養活用科目	選択	自然科学の教養基礎科目				2		
		自然科学の教養基礎科目				2		
			統合Ⅰ(課題発見)			2		
			統合Ⅰ(課題解決)			2		
基礎	法文スタンダード科目	必修	人文社会総合論				2	
	学科共通科目	必修	法経基礎演習				2	
			法経総合講義				2	
		選択必修※1	企業論					14
			企業会計論					
			ミクロ経済学Ⅰ					
			ミクロ経済学Ⅱ					
	マクロ経済学Ⅰ							
	統計作成論							
				経済史入門				
専門教育科目	法文アドバンスト科目Ⅰ	選択必修		まちづくり論	地域科学特殊講義		6	
	法文アドバンスト科目Ⅱ	選択必修		都市計画				
	活用	コース科目	選択		経済学と数学	経営管理論	地場産業企業論	52
					数理統計論	意思決定論	経営分析	
					経営戦略論	国際経営論	ベンチャー企業論	
					財務会計論	経営財務論	マーケティング論	
					工業簿記・原価計算論	地域計画論		
					商学総論	経営情報論		
					財政政策論Ⅰ	システム監査論		
					財政政策論Ⅱ	データベース論		
				金融論	システム設計			
				商業簿記	有価証券法	社会保障法		
	会社法Ⅰ							
実践	コース科目	選択		フィールド実習			14	
	自由科目※2	必修		演習	演習	特殊研究		
	自由科目※2	選択		産業組織心理学			2	
						総単位数	124	

※1 学科基礎科目については、この科目群から6単位以上修得しなければならない。

※2 自由科目として他学科開講科目を履修し、これによって修得した単位を6単位まで卒業要件単位数に含めることができる。

法文チャレンジ・プログラム	地域再生チャレンジ・プログラム	選択	社会調査 地域づくりとNPO 自治体政策論 人文地理学概説	コミュニティ論 まちづくりを考える 地域計画論 六次化産業論 地域計量分析	地理学講義	20
		必修		フィールド実習 課題レポート作成		3

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 人文学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	初年次教育科目	初年次セミナーⅠ	1前	2			○								兼1	
		初年次セミナーⅡ	1後	2			○								兼1	
		大学と地域	1前・後	2			○								兼10	
		体育・健康科学理論	1後	1			○								兼2	
		体育・健康科学実習	1前	1					○						兼1	
		情報活用	1前	2			○								兼1	
	グローバル教育科目	英語ⅠA・英語ⅠB	1前	2			○								兼1	
		英語ⅡA・英語ⅡB	2後	2			○								兼1	
	日本語・日本事情科目	異文化理解入門	1前	2			○								兼1	
		日本語Ⅰ	1前		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本語Ⅱ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本語Ⅲ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本語Ⅳ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本事情A	1前		2		○								兼1	外国人留学生のみ
日本事情B		1後		2		○								兼1	外国人留学生のみ	
日本事情C	2前		2		○								兼1	外国人留学生のみ		
小計(16科目)		—	16	10	0		—		0	0	0	0	0	0	兼26	—
(人文・社会科学分野)	初級独語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級仏語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級中国語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級韓国語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級独語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級仏語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級中国語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級韓国語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	小計(8科目)		—	0	16	0		—		0	0	0	0	0	0	兼8
共通教育科目(教養教育科目)	選択科目(人文・社会科学分野)	アラビア入門Ⅰ	1前		1		○								兼1	
		「生き方」としての宗教論	1前		2		○				1				兼1	
		稲盛和夫の経営哲学	1前		2		○								兼1	
		映画論	1前		2		○								兼1	
		関わりあいの心理学	1前		2		○								兼1	
		鹿児島から考える多文化共生	1前		2		○								兼1	
		鹿児島探訪—歴史—	1前		2		○								兼1	
		鹿児島の歴史地理	1前		2		○				1				兼1	
		合唱Ⅰ	1前		1		○								兼1	
		合奏演習Ⅰ	1前		1		○								兼1	
		キャリア・恋人・コミュニケーションの社会学	1前		2		○				1				兼1	
		グローバル人材育成(雲南)	1前		2		○								兼1	
		言語と文化	1前		2		○				1				兼1	
		現代企業経営論	1前		2		○				1				兼1	
		現代の日本政治	1前		2		○								兼1	
		行動科学	1前		2		○					1			兼1	
		国際経済学入門	1前		2		○					1			兼1	
		国際私法入門	1前		2		○					1			兼1	
		古代東アジアの王陵	1前		2		○								兼1	
		司法制度論	1前		2		○					1			兼1	
		障害児教育入門	1前		2		○								兼1	
		心理学概論	1前		2		○								兼1	
		森林経済学Ⅰ	1前		2		○								兼1	
		西洋史入門	1前		2		○				1				兼1	
		世界の中のイスラーム	1前		2		○								兼1	
		大学の日本史	1前		2		○				1				兼1	
		地方自治体の課題と政策	1前		2		○					1			兼1	
著作権とビジネスコンプライアンス	1前		2		○								兼1			
地理学	1前		2		○								兼1			
唐代の文学	1前		2		○				1				兼1			
日本国憲法	1前		2		○								兼3			
入門：起業のための人材育成Ⅱ	1前		2		○								兼1			
人間と環境の心理学	1前		2		○								兼1			

共通教育科目（教養教育科目）	教養基礎科目	How Language and Music Influences Society	1前	2	○																兼1					
		発達臨床心理学	1前	2	○																		兼1			
		犯罪心理学	1前	2	○																		兼1			
		東アジア社会史	1前	2	○					1													兼1			
		美術への誘い	1前	2	○																		兼1			
		万葉集—古代人の心とことば—	1前	2	○																		兼1			
		ライフスキルの心理学	1前	2	○																		兼1			
		倫理学入門	1後	2	○						1												兼1			
		アイデア・発明から特許へ	1後	2	○																		兼1			
		医学・行動心理学入門	1後	2	○																		兼1			
		稲盛和夫のベンチャー企業論	1後	2	○																		兼1			
		ウォッチング現代社会	1後	2	○																		兼1			
		関わり合いの心理学入門	1後	2	○																		兼1			
		鹿児島から考える多文化共生	1後	2	○																		兼1			
		鹿児島探訪—歴史—	1後	2	○																		兼1			
		合唱Ⅱ	1後	1	○																		兼1			
		合奏演習Ⅱ	1後	1	○																		兼1			
		環境文学入門	1後	2	○																		兼1			
		韓国語入門Ⅰ	1後	1	○																		兼1			
		狂言の世界	1後	2	○																		兼1			
		暮らしから試みるニュース	1後	2	○																		兼1			
		経済原論	1後	4	○																		兼1			
		現代社会と環境教育	1後	2	○																		兼1			
		現代社会を考える	1後	2	○																		兼1			
		行動科学	1後	2	○							1											兼1			
		コーポレートファイナンス	1後	2	○																		兼1			
		自然体験活動入門講座	1後	2	○																		兼1			
		実験医学・行動心理学	1後	2	○																		兼1			
		社会学の世界	1後	2	○																		兼1			
		障害児教育入門	1後	2	○																		兼1			
		初級フィリピン語講座	1後	2	○																		兼1			
		16・17世紀イギリ演劇への招待	1後	2	○																		兼1			
		水産経済学	1後	2	○																		兼1			
		税と法律	1後	2	○																		兼1			
		戦後日本外交史	1後	2	○																		兼1			
		地域ブランドを学ぶ	1後	2	○																		兼1			
		中国語入門Ⅰ	1後	1	○																		兼1			
		中国と東アジアの世界	1後	2	○																		兼1			
		哲学入門	1後	2	○																		兼1			
		独語入門Ⅰ	1後	1	○																		兼1			
		日本国憲法	1後	2	○																		兼1			
		日本史を読む	1後	2	○																		兼1			
		日本史学	1後	2	○																		兼1			
		日本の焼き物	1後	2	○																		兼1			
		入門：起業のための人材育成Ⅰ	1後	2	○																		兼1			
		農業経済学	1後	2	○																		兼1			
		平和学—広島・長崎講座—	1後	2	○																		兼1			
		仏語入門Ⅰ	1後	1	○																		兼1			
		ブラジルの社会と文化	1後	2	○																		兼1			
		陽明学入門	1後	2	○																		兼1			
		小計（94科目）	—	0	191	0	—				8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼26	—		
		共通教育科目（教養教育科目）	選教科目（自然科学分野）	遺伝のしくみ	1前	2	○																	兼1		
				宇宙科学	1前	2	○																		兼1	
				科学ジャーナリズム	1前	2	○																		兼1	
				技術概論	1前	2	○																		兼1	
				技術と文化	1前	2	○																		兼1	
				教養微積分学	1前	2	○																		兼1	
				暮らしの中のバイオ	1前	2	○																		兼1	
				現代物理学入門	1前	2	○																		兼1	
				娯楽数学	1前	2	○																		兼1	
				行動生態学	1前	2	○																		兼1	
				資源生産管理学	1前	2	○																		兼1	
				地震と火山	1前	2	○																		兼1	
				焼酎	1前	2	○																		兼1	
				神経行動学	1前	2	○																		兼1	
				水産海洋学	1前	2	○																		兼1	
				水産生物学	1前	2	○																		兼1	
				数理科学入門	1前	2	○																		兼1	
				スポーツ実習（卓球）	1前	2			○																兼1	
				スポーツ実習（バスケボール）	1前	2			○																兼1	

共通教育科目（教養教育科目）	教養基礎科目	選択科目（自然科学分野）	生物とリズム	1前	2	○														兼1						
			生命と物理	1前	2	○																兼1				
			相対論を学ぶ	1前	2	○																兼1				
			データ解析への入門	1前	2	○																兼1				
			動物の生態と社会	1前	2	○																兼1				
			動物の病気	1前	2	○																兼1				
			入門物理Ⅰ	1前	2	○																兼1				
			乗り物の物理学	1前	2	○																兼1				
			Fisheries and Fisheries Sciences	1前	2	○																	兼1			
			分子生物学入門	1前	2	○																	兼1			
			身近な話題の生物学	1前	2	○																	兼1			
			無機化学入門	1前	2	○																	兼1			
			ものづくり入門	1前	2	○																	兼1			
			遊びと科学	1後	2	○																	兼1			
			新しい物質観	1後	2	○																	兼1			
			医学・脳科学入門	1後	2	○																	兼1			
			医学生物学	1後	2	○																	兼1			
			依頼・介入関係の基礎理念	1後	2	○																	兼1			
			宇宙の利用	1後	2	○																	兼1			
			科学技術論	1後	2	○																	兼1			
			基礎溶液化学	1後	2	○																	兼1			
			教養線形代数	1後	2	○																	兼1			
			健康管理	1後	2	○																	兼1			
			細胞生物学入門	1後	2	○																	兼1			
			実験医学・脳科学	1後	2	○																	兼1			
			焼酎	1後	2	○																	兼1			
			情報数学Ⅰ	1後	2	○																	兼1			
			食品・化粧品・医薬品の有機化学	1後	2	○																	兼1			
			植物学入門	1後	2	○																	兼1			
			植物生態学	1後	2	○																	兼1			
			初心者のためのカバール生物学	1後	2	○																	兼1			
			森林科学	1後	2	○																	兼1			
			水圏環境保全科学	1後	2	○																	兼1			
			水産食品科学	1後	2	○																	兼1			
			水産増養殖学	1後	2	○																	兼1			
			スポーツサイエンス	1後	2	○																	兼1			
			スポーツ実習（バドミントン）	1後	1					○													兼1			
			生化学実験Ⅰ	1後	2					○			○										兼1			
			生命と炭素化合物	1後	2					○													兼1			
			生命科学	1後	2					○													兼1			
			生命科学情報活用Ⅰ	1後	2					○													兼1			
			地球と環境	1後	2					○													兼1			
			DNAの科学	1後	2					○													兼1			
			電気電子工学入門	1後	2					○													兼1			
			身近な科学	1後	2					○													兼1			
			小計（64科目）	—	0	127	0	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼26			
			共通教育科目（教養教育科目）	教養活用科目	統合Ⅰ（課題発見）	いのちと地域を守る防災学Ⅰ	1前	2	○															兼1		
						かごしま教養プログラム	1前	2	○						1										兼1	
						環境ビジネスⅠ	1前	2	○																兼1	
						キャリアデザイン	1前	2	○																	兼1
						グローバル・インシアティブ 概論	1前	2	○																	兼1
						グローバル社会を生きる	1前	2	○																	兼1
						自然学校へ移行 実践論Ⅰ	1前	2	○																	兼1
						実用英語短期講座 16	1前	2	○																	兼1
						社会人としての救急措置入門	1前	2	○																	兼1
						人生における出会いの意義と役割	1前	2	○																	兼1
						生命化学への招待	1前	2	○																	兼1
						大学生のための社会人基礎力入門	1前	2	○																	兼1
						大学で学ぶ	1前	2	○																	兼1
						地球環境保全のための国際協力	1前	2	○																	兼1
						博物館へのいざない	1前	2	○																	兼1
						防災フィールドワーク	1前	2	○																	兼1
						鹿児島島の地域に学ぶ	1後	2	○																	兼1
						鹿児島大学に学ぶ	1前	2	○																	兼1
キャリアデザイン	1後	2				○																	兼1			
グローバル・インシアティブ 概論	1後	2				○																	兼1			
現代社会と大学	1後	2	○																	兼1						
自然学校へ移行 実践論Ⅱ	1後	2	○																	兼1						
手話入門	1後	2	○																	兼1						
消費者教育	1後	2	○																	兼1						

共通教育科目（教養教育科目）	教養活用科目	統合Ⅰ（課題発見）	女性学入門	1後	2				○											兼1	
		進取の精神：その現在・過去・未来	1後	2						○											兼1
			人生における出会いの意義と役割	1後	2				○											兼1	
			全人的歯科医療実践学	1後	2				○											兼1	
			大学生のための社会人基礎力入門	1後	2				○											兼1	
			男女共同参画とキャリアデザイン	1後	2				○											兼1	
			小計（30科目）	—	60	0	0		—		1	0	0	0	0	0	0	0	0	兼29	—
		統合Ⅱ（課題解決）	奄美の民俗文化	1前	2				○											兼1	
			イスラームの多様性に学ぶ	1前	2				○											兼1	
			稲盛和夫のリーダー論	1前	2				○											兼1	
			かごしまフィールドスクール	1前	2				○											兼1	
			鹿児島探訪－環境－	1前	2				○		1									兼1	
			鹿児島探訪－文化－	1前	2				○											兼1	
			環境と進化の科学	1前	2				○											兼1	
			がんはなぜおこるのか	1前	2				○											兼1	
			口と顔の科学	1前	2				○											兼1	
			国際異文化交流Ⅰ	1前	2				○											兼1	
			国際関係論	1前	2				○											兼1	
			国際協力体験講座－タイコース－	1前	2				○											兼1	
			国際協力体験講座－ミャンマーコース－	1前	2				○											兼1	
			最先端医療を創出するバイオ研究	1前	2				○											兼1	
			自然学校インターンシップⅠ	1前	2				○											兼1	
			自然学校へ行こう！	1前	2				○											兼1	
			実践キャリアデザイン	1前	2				○											兼1	
			シラス地域学	1前	2				○											兼1	
			滞在者のためのコミュニケーションスキル：中国編	1前	2				○											兼1	
			短期派遣留学Ⅰ	1前	1					○										兼1	
			短期派遣留学Ⅱ	1前	1					○										兼1	
			地域環境論	1前	2				○											兼1	
			地域防災学実践Ⅰ	1前	2				○											兼1	
			南米における進取の気風研修計画	1前	2				○											兼1	
			ピアカウンセリング入門	1前	2				○											兼1	
			東アジア社会の共通課題は何か？	1前	2				○											兼1	
			ヒトの身体の仕組みと働き	1前	2				○											兼1	
			ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅰ	1前	2				○											兼1	
			北米におけるグローバル人材育成	1前	2				○											兼1	
			南太平洋多島域	1前	2				○											兼1	
			屋久島の環境文化Ⅰ－植生－	1前	2				○											兼1	
			屋久島の環境文化Ⅲ－産業－	1前	2				○											兼1	
			有機農業Ⅰ 新しい食と農のかたち	1前	2				○											兼1	
			有機農業Ⅲ 田んぼでアウトドア	1前	2				○											兼1	
			留学生のための異文化理解	1前	2				○											兼1	
			奄美の民俗文化	1後	2				○											兼1	
			いのちと地域を守る防災学Ⅱ	1後	2				○											兼1	
			英語によるグローバル人材育成	1後	2				○											兼1	
			海外研修基礎コースinカリフォルニア	1後	2				○											兼1	
			海外研修基礎コースin東南アジア	1後	2				○											兼1	
			海外研修基礎コースinハワイ	1後	2				○											兼1	
			鹿児島探訪－環境－	1後	2				○											兼1	
			鹿児島探訪－循環型社会と世界遺産－	1後	2				○											兼1	
			鹿児島探訪－地域産業－	1後	2				○											兼1	
			鹿児島の四季 キャンパス俳句会	1後	2				○											兼1	
			環境ビジネス2	1後	2				○											兼1	
			九州の古墳文化	1後	2				○											兼1	
			共生のためのフェア・トレード	1後	2				○											兼1	
			共生のためのフェア・トレードⅡ	1後	2				○											兼1	
			口と顔の科学	1後	2				○											兼1	
			健康を創り、守る	1後	2				○											兼1	
			国際異文化交流Ⅱ	1後	2				○											兼1	
			国際感覚を持つバイテク人材育成	1後	2				○											兼1	
			国際協力論	1後	2				○											兼1	
			自己理解・他者理解と障害理解	1後	2				○											兼1	
			自然学校インターンシップⅡ	1後	2				○											兼1	
			自然環境保全と世界遺産	1後	2				○											兼1	
			島のしくみ	1後	2				○											兼1	
			短期派遣留学Ⅰ	1後	1					○										兼1	
			短期派遣留学Ⅱ	1後	1					○										兼1	
			地域就業キャリアデザイン	1後	2				○											兼1	
			地域防災学実践Ⅱ	1後	2				○											兼1	
			ピアカウンセリング入門	1後	2				○											兼1	

共通教育科目 (教養教育科目)	教養活用科目	統合Ⅱ(課題解決)	ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅱ	1後	2			○										兼1			
			放射線の世界	1後	2			○											兼1		
			森・ひと・体験	1後	2			○										兼1			
			屋久島の環境文化Ⅱ-生き物-	1後	2			○										兼1			
			屋久島の環境文化Ⅳ-生活と文化-	1後	2			○										兼1			
			有機農業Ⅱ 有機農業入門	1後	2			○										兼1			
			留学生のための異文化理解	1後	2			○										兼1			
			小計(70科目)	—	136	0	0	—			1	0	0	0	0	0	0	兼69	—		
専門教育科目	基礎 学科 共通 科目	法文 スタン ダード 科目	人文社会総合論	1前	2						8	7							オムニバス		
			小計(1科目)	—	2						8	7	0	0	0						
			人文科学基礎Ⅰ	1前	2			○			22	19	3							学科・必, 共同	
			人文科学基礎Ⅱ	1後	2			○			22	19	3							学科・必, 共同	
			多元地域文化コース基礎Ⅰ	2前		2		○			19	15								多元・必, オムニバス	
			多元地域文化コース基礎Ⅱ	2後		2		○			19	15								多元・必, オムニバス	
			心理学コース基礎Ⅰ	2前		2			○		1		1							心理・必, オムニバス	
			心理学コース基礎Ⅱ	2後		2			○		3	4	3							心理・必, オムニバス	
			メディア史概説	1前		2			○				1								
			芸術文化史概説	1後		2			○				1								
			言語思想史概説	1後		2			○				1								
			哲学概説	1前		2			○				1								
			倫理学概説	1後		2			○				1								
			日本史概説	1前		2			○				2							兼1	オムニバス
			東洋史概説A	1前		2			○					1							
			東洋史概説B	1後		2			○				1								
			西洋史概説	1前		2			○				1								
			日本文学史概説A	1後		2			○				1								
			日本文学史概説B	1後		2			○					1							
			中国文学概説A	1前		2			○				1								
			中国文学概説B	1前		2			○				1								
			イギリス文学概説A	1前		2			○				1								
			イギリス文学概説B	1前		2			○				1								
			アメリカ文学概説A	1前		2			○				1								
			アメリカ文学概説B	1後		2			○				1								
			日本語学概説A	1後		2			○				1								
			日本語学概説B	1後		2			○				1								
			英語学概説A	1前		2			○					1							
			英語学概説B	1前		2			○					1							
			人文地理学概説	1前		2			○					1							
			自然地理学概説	1後		2			○					1							
			地誌学概説	1後		2			○					1							
			考古学概説A	1前		2			○				1								
			考古学概説B	1前		2			○					1							
			文化人類学概説	1前		2			○				1								
			比較民俗学概説	1後		2			○											兼1	
			心理学概論	1前		2			○					1							心理・必
			心理学研究法	2前		2			○					1							心理・必
			心理統計法	1後		2			○				1								心理・必
	社会学概論	1前		2			○				1								兼1		
	経済学概論	1前		2			○				1								兼1		
		小計(39科目)	—	4	74			—			22	19	3	0	2			兼4			
	活用1	多元地域文化コース科目	多文化交流論	2前		2		○				1									
			英語圏比較文化論	2後		2		○					1								
			表象文化論	2後		2		○					1								
			ポピュラーカルチャー論	2前		2		○					1								
			現代文化論	2前		2		○				1									
			言語と文化	2前		2		○				1									
			社会言語学	2後		2		○				1									
			書籍文化研究	2前		2		○				1									
			報道論	2前		2		○					1								
			哲学研究A	2前		2		○				1									
			哲学研究B	2後		2		○					1								
			日本歴史・文化研究A	2後		2		○				1									
			日本歴史・文化研究B	2後		2		○				1									
			アジア歴史・文化研究A	2後		2		○					1								
			アジア歴史・文化研究B	2前		2		○				1									
			西洋歴史・文化研究A	2前		2		○				1									
			西洋歴史・文化研究B	2後		2		○				1									
			日本古典文学研究A	2前		2		○					1						兼1		
			日本古典文学研究B	2前・後		2		○					1								
			日本近現代文学研究A	2前		2		○					1								
			日本近現代文学研究B	2後		2		○					1								
			中国文学研究	2後		2		○				1									
			アジア言語研究A	2前		2		○					1								
			アジア言語研究B	2後		2		○					1								
			中国言語文化研究A	2前		2		○					1								





専門教育科目	法文アドバンス ト科目Ⅱ	生命共生論	3後	2	○										兼1	
		畜産科学概論	2後	2	○										兼1	
		応用植物科学概論	2後	2	○										兼1	
		食料生命科学序論	3前	2	○										兼1	
		比較酒文化論	4前	2	○										兼1	
		小計(10科目)	—	20	—			0	0	0	0	0	0	兼10	—	
教科に関する科目		日本語学概説A	1後	2	○			1							兼1	中・国・高・国
		日本語学概説B	1後	2	○			1							兼1	中・国・高・国
		日本語学研究A	2前	2	○			1							兼1	中・国・高・国
		日本語学研究B	2後	2	○										兼1	中・国・高・国
		日本語学演習A1	2前	2		○		1							兼1	中・国・高・国
		日本語学演習B1	2後	2		○		1							兼1	中・国・高・国
		言語と文化	2前	2		○		1							兼1	中・国・高・国
		言語と文化演習	2後	2		○		1							兼1	中・国・高・国
		日本文学史概説A	1後	2		○		1							兼1	中・国・高・国
		日本文学史概説B	1後	2		○				1					兼1	中・国・高・国
		日本古典文学研究A	2前	2		○									兼1	中・国・高・国
		日本古典文学研究B	2前・後	2		○		1							兼1	中・国・高・国
		日本近現代文学研究A	2前	2		○				1					兼1	中・国・高・国
		日本近現代文学研究B	2後	2		○				1					兼1	中・国・高・国
		日本古典文学演習A1	2前	2			○	1							兼1	中・国・高・国
		日本古典文学演習B1	2後	2			○	1							兼1	中・国・高・国
		日本近現代文学演習A1	2前	2			○			1					兼1	中・国・高・国
		日本近現代文学演習B1	2後	2			○			1					兼1	中・国・高・国
		日本古典文学リテラシー実習	2前	2				1							兼1	中・国・高・国
		中国文学概説A	1前	2		○		1							兼1	中・国・高・国
		中国文学概説B	1前	2		○		1							兼1	中・国・高・国
		中国文学研究	2後	2		○		1							兼1	中・国・高・国
		中国文学演習A1	2前	2			○	1							兼1	中・国・高・国
		中国文学演習B1	2後	2			○	1							兼1	中・国・高・国
		書道実習	2前	1				○							兼1	中・国
		日本史概説	1前	2		○			2						兼1	中・社・高・地歴
		東洋史概説A	1前	2		○				1					兼1	中・社・高・地歴
		東洋史概説B	1後	2		○			1						兼1	中・社・高・地歴
		西洋史概説	1前	2		○			1						兼1	中・社・高・地歴
		考古学概説A	1前	2		○			1						兼1	中・社・高・地歴
		考古学概説B	1前	2		○				1					兼1	中・社・高・地歴
		考古学研究A	2前・後	2		○			1						兼1	中・社・高・地歴
		考古学研究B	2前・後	2		○				1					兼1	中・社・高・地歴
		考古学研究C	2前・後	2		○									兼1	中・社・高・地歴
		日本歴史・文化研究A	2後	2		○			1						兼1	中・社・高・地歴
		日本歴史・文化研究B	2後	2		○			1						兼1	中・社・高・地歴
		アジア歴史・文化研究A	2後	2		○				1					兼1	中・社・高・地歴
		アジア歴史・文化研究B	2前	2		○			1						兼1	中・社・高・地歴
		西洋歴史・文化研究A	2前	2		○			1						兼1	中・社・高・地歴
		西洋歴史・文化研究B	2後	2		○			1						兼1	中・社・高・地歴
		日本歴史・文化演習A1	2前・後	2			○		1						兼1	中・社・高・地歴
		日本歴史・文化演習B1	2前・後	2			○		1						兼1	中・社・高・地歴
		アジア歴史・文化演習A1	2前・後	2			○			1					兼1	中・社・高・地歴
		アジア歴史・文化演習B1	2前・後	2			○		1						兼1	中・社・高・地歴
		アジア歴史・文化演習C1	2前	2					1	1					兼1	中・社・高・地歴
		西洋歴史・文化演習A1	2前・後	2			○		1						兼1	中・社・高・地歴
		西洋歴史・文化演習B1	2前・後	2			○		1						兼1	中・社・高・地歴
		古文書実習A	2前	2				○	1						兼1	中・社・高・地歴
		古文書実習B	2前	2				○	1						兼1	中・社・高・地歴
		人文地理学概説	1前	2		○				1					兼1	中・社・高・地歴
		自然地理学概説	1後	2		○				1					兼1	中・社・高・地歴
		地誌学概説	1後	2		○				1					兼1	中・社・高・地歴
		地理学講義A	2前	2		○				1					兼1	中・社・高・地歴
		地理学講義B	2後	2		○				1					兼1	中・社・高・地歴
		地誌学講義	2後	2		○				1					兼1	中・社・高・地歴
		文化人類学概説	1前	2		○			1						兼1	中・社・高・地歴
		比較民俗学概説	1後	2		○									兼1	中・社・高・地歴
		文化人類学研究	2後	2		○			1	1					兼1	中・社・高・地歴
		地理学演習A1	2前	2			○			1					兼1	中・社・高・地歴
		地理学演習B1	2後	2			○			1					兼1	中・社・高・地歴
		地理学実験	2前	1				○			2				兼1	中・社・高・地歴
		地理学実習	2前・後	1				○			2				兼1	中・社・高・地歴
		哲学概説	1前	2		○				1					兼1	中・社・高・公民
		倫理学概説	1後	2		○			1						兼1	中・社・高・公民
		哲学研究A	2前	2		○					1				兼1	中・社・高・公民
		哲学研究B	2後	2		○					1				兼1	中・社・高・公民
		哲学演習A1	2前・後	2			○		1						兼1	中・社・高・公民
		哲学演習B1	2前・後	2			○				1				兼1	中・社・高・公民
		ポピュラーカルチャー論	2前	2		○					1				兼1	中・社・高・公民
		現代文化論	2前	2		○			1						兼1	中・社・高・公民
		メディア史概説	1前	2		○					1				兼1	中・社・高・公民
		芸術文化史概説	1後	2		○					1				兼1	中・社・高・公民
		表象文化論	2後	2		○					1				兼1	中・社・高・公民
		報道論	2前	2		○					1				兼1	中・社・高・公民
		現代文化論演習1	2前・後	2				○		1					兼1	中・社・高・公民
		芸術文化論演習	2後	2				○			1				兼1	中・社・高・公民
		メディア論演習	2前	2				○			1				兼1	中・社・高・公民
		表象文化論演習1	2後	2				○			1				兼1	中・社・高・公民
		ポピュラーカルチャー論演習1	2前	2				○			1				兼1	中・社・高・公民
		報道論演習1	2前・後	2				○			1				兼1	中・社・高・公民

教科に関する科目	書籍文化研究	2前	2		○			1										中・社・高・公民	
	書籍文化演習1	2前・後	2			○		1										中・社・高・公民	
	心理学概論	1前	2		○				1									高・公民・心理・必	
	心理学研究法	2前	2						1									高・公民・心理・必	
	心理統計法	1後	2		○				1									高・公民・心理・必	
	比較心理学	2前	2		○				1									高・公民	
	認知心理学	2後	2		○					1								高・公民	
	学習心理学	3後	2		○					1								高・公民	
	臨床心理学	2前	2		○					1								高・公民	
	コミュニティ援助論	2後	2		○						1							高・公民	
	社会心理学	2後	2		○						1							高・公民	
	産業・組織心理学	2前	2		○							1						高・公民	
	比較心理学演習	3前・後	2				○		1									高・公民	
	認知心理学演習	3前・後	2				○			1								高・公民	
	臨床心理学演習	3前・後	2				○			1								高・公民	
	社会心理学演習	3前・後	2				○			1								高・公民	
	社会学概論	1前	2			○			1									高・公民	
	経済学概論	1前	2			○			1									高・公民	
	英語学概説A	1前	2			○				1								中・英・高・英	
	英語学概説B	1前	2			○				1								中・英・高・英	
	英語学研究	2前	2			○				1								中・英・高・英	
	英語学演習1	2前・後	2				○			1								中・英・高・英	
	イギリス文学概説A	1前	2			○			1									中・英・高・英	
	イギリス文学概説B	1前	2			○			1									中・英・高・英	
	アメリカ文学概説A	1前	2			○			1									中・英・高・英	
	アメリカ文学概説B	1後	2			○			1									中・英・高・英	
	イギリス演劇研究	2後	2			○			1									中・英・高・英	
	イギリス文学演習1	2前・後	2				○		1									中・英・高・英	
	アメリカ文学演習1	2前・後	2				○		1									中・英・高・英	
	英語ライティング	2前・後	2				○		1									中・英・高・英	
	英語オーラル	2前・後	2				○		1									中・英・高・英	
	英語コミュニケーション A	2前	2				○		1									中・英・高・英	
	英語コミュニケーション B	2後	2				○		1									中・英・高・英	
	英語圏比較文化論	2後	2				○		1									中・英・高・英	
	社会言語学	2後	2				○		1									中・英・高・英	
	社会言語学演習1	2前	2				○		1									中・英・高・英	
	小計(116科目)	—	229			—			22	19	3	0	0	0	0	0	0	兼8	—
	教職に関する科目	教職概論	2前	2			○												兼1
		社会科教育法 I (社会)	2前	2			○												兼1
地理歴史科教育法 I (地歴)		2前	2			○												兼1	
地理歴史科教育法 II (地歴)		2後	2			○												兼1	
教職実践演習(中・高)		4前	2															兼1	
教育実習(中学)		4前	4															兼1	
教育実習(高校)		4前	2															兼1	
教育実習事前・事後指導		4前	1															兼1	
小計(8科目)	—	17			—			0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼5	—	
学芸員資格科目	博物館実習	4前	3					1										兼1	
	日本史概説	1前	2			○		2										兼1	
	東洋史概説A	1前	2			○			1									兼1	
	東洋史概説B	1後	2			○			1									兼1	
	日本歴史・文化研究A	2後	2			○			1									兼1	
	日本歴史・文化研究B	2後	2			○			1									兼1	
	アジア歴史・文化研究A	2後	2			○			1									兼1	
	アジア歴史・文化研究B	2前	2			○			1									兼1	
	考古学概説A	1前	2			○			1									兼1	
	考古学概説B	1前	2			○				1								兼1	
	考古学研究A	2前・後	2			○			1									兼1	
	考古学研究B	2前・後	2			○				1								兼1	
	考古学研究C	2前・後	2			○				1			1					兼1	
	文化人類学研究	2後	2			○				1								兼1	
文化人類学概説	1前	2			○				1								兼1		
比較民俗学概説	1後	2			○				1								兼1		
小計(16科目)	—	33			—			11	5	1	0	0	0	0	0	0	兼3	—	
合計(228科目)																		兼8	—
多元地域文化コース 合計(189科目)																		兼8	—
心理学コース 合計(104科目)																		兼8	—
学位又は称号			学士(文学)			学位又は学科の分野			人文学関係										
設置の趣旨・必要性																			
I 設置の趣旨・必要性 (背景) 1. 設置の背景 法文学部は、平成9年度の教養部廃止に伴い、大幅な改組を行い、法政策学科、経済情報学科、人文学科の3学科体制をとり、教育研究にあたることになった。その後20年間、日本社会及び南九州地区は、少子高齢化・過疎化が大きく進み、また、グローバル化の進展により地域社会が大きな影響を受けることとなった。法文学部も、社会の変化に合わせ、教育システムの変更を行い、積極的に地域の求める人材養成の期待に応える努力を行ってきた。 例えば、平成18年度、本学部は文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採択され、一連の現代的教育ニーズ科目群(「キャリア科目」「キャリアアップ科目」「自己表現力科目」)を設置し、社会の変化に合わせた教育課程の改善を行った。さらに、平成21-23年度、文部科学省「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム」に法文学部の「取材学習を取り入れた循環型初年次教育」が採択され、初年次の学生全てに「人文系共通技能」を保証するため、多様なメディアを駆使した取材学習を導入し、併せて、授業にSA(Student Assistant)を起用、受講後の学生を1-2年の講習の後SAとして再び初年次教育に参加させる循環型の人材育成を行うという改革が行なわれた。また、平成23-25年度、文部科学省概算要求特別経費プロジェクト「学生一人一人の『人文系共通技能』を伸ばす学士課程の構築」に採択され、学士力を学生に身につけさせるための様々な取り組みが行なわれてきた。																			

しかしながら、社会の変化は激しく、現在、地域社会は多くの困難な諸課題に直面し、大学に対して地域の要請に応え、地域創生を担う人材を育成することを強く要請するようになってきている。こうした現状の中、現在の法文学部組織ではその対応に限界があり、カリキュラムの変更というレベルでの対応では不十分な状況に立ち至った。こうした点に鑑み、法文学部は、人文社会科学系総合学部としての強みと特色を活かし、地域社会が抱える諸問題に対処できる人材を育成するべく学科組織を再編し、新たな学部組織を設置することとした。

これまでの法政策学科、経済情報学科の2学科を社会科学系の総合学科として法経社会学科へと統合し、強みと特色を発揮するため、法学コース、経済コースを設置し、さらに地域の課題を社会科学的手法で解決する地域社会コースを置く。人文学科を再編し、グローバルな課題に積極的に対応し、人文科学的手法でその解決を目指す多元地域文化コースと地域の心理的課題に対応するための心理学コースを置く。

## 2. 学科の統合・再編と教育課程の再編

### (1) 総合学部に向けての再編

複合学部としての性格の残存する学部組織を大幅に見直し、人文社会科学系総合学部としての強みを明確に打ち出すために、これまでの法政策学科、経済情報学科、人文学科の3学科体制を見直し、新たに法経社会学科、人文学科の2学科体制に再編する。

### (2) 教育課程の再編

入学後の学生が、個別の専門領域の学修と総合的・横断的な学修との連関を明確に意識できるように、履修科目を、基礎から活用、実践の3段階に分類し、段階的履修が可能になるように整備した。これは、学部全体として入口・出口を有機的に関連させた段階的な履修体系の実現である。さらに、急激に変容する社会をしっかりと見通し、たくましく生き抜くために必要な諸能力を身に付けさせるため、人文社会科学系総合学部という特性を踏まえて、法文学部に所属する学生が共通に身につけるべき人文社会科学の基礎を学修する法文スタンダード科目を置き、狭い個別領域の学修に陥ることなく、広い視野と経験に裏打ちされた教育を実現するため、基礎的な知を応用展開し分野横断的・学際的・文理融合的な知を身につけることを目的とした法文アドバンス科目を置く。

### (学科の統合・再編の必要性)

#### 3. 鹿児島大学法文学部の現状

平成9年度の教養部廃止に伴う教育・研究組織の見直しを行って以降、法文学部においては、部分的な教育改革を行ってきたものの、社会の変容や学生のニーズに即した教育研究の見直しとそれに連動した組織改革を行ってこなかった。そのため、人文社会科学系総合学部としての性格を明確に打ち出すことができず、法・経・人文の3学科が個々に教育研究を展開する複合学部としての性格が濃厚であり、以下のような問題点を克服できない現状にある。

#### 4. 鹿児島大学法文学部に求められているものと役割

鹿児島大学法文学部は、鹿児島県を含む南九州地域に根ざした人文社会科学系総合学部として、地元の多様な教育ニーズに応答することが求められている。とくに、少子高齢化や過疎化が急激に進む南九州にあって、地域を熟知し、地域の活性化や再生を担う有為な人材の育成は急務である。そのため、人文社会科学分野の個別専門領域についての基本的な知識とともに、地域が抱える諸課題への理解力を身につけ、さらに思考力、判断力、表現力等の能力を兼ねそなえた実践的能動的人材を育成する役割を果さねばならない。

こうした要請に応えるために、既存の法政策学科、経済情報学科を統合して法経社会学科とし、伝統的学問分野である法学コース、経済コースに加えて、地域の諸課題を社会科学的手法で分析解決し、地域により密接に関わった実践的な学びによって地域づくりに貢献できる人材を養成する地域社会コースを新たに設置した。

また、人文学科に地域及び世界の多面的な文化・歴史・環境への深い造詣に基づく人文科学的手法を身に付けることにより、広い視野に立って、地域から見える課題、逆に国際的な視点から見える地域社会における課題を実践的に解決できる人材を養成する多元地域文化コースを人文学科に設置した。同時に、複雑化する現代社会のなかで人々の心の問題が深刻な社会問題ともなっていることから、人間の心と行動への深い造詣に基づき、心理的支援によって地域に貢献できる人材や、心理学の知見を活用し産業・行政分野で貢献できる人材を養成する必要性に応えるため、人文学科に、新たに心理学コースを設置した。

### (本学に設置する必要性)

#### 5. 法文学部の改組

##### (1) 改組の目的

法文学部は、平成9年度の教養部廃止に伴い、大幅な改組を行い、法政策学科、経済情報学科、人文学科の3学科体制となった。

その後、日本社会及び南九州地区は、少子高齢化・過疎化が大きく進み、また、グローバル化の進展により地域社会が大きな影響を受けることとなった。法文学部も、社会の変化に合わせ、教育カリキュラムの変更を行い、積極的に地域の求める人材養成の期待に応える努力を行ってきたが、教育カリキュラムの変更のみでは対応が難しい状況に立ち至った。また、この間、2つの専門職大学院の設置(司法政策研究科(平成16年度設置)、臨床心理学研究科(平成19年度設置))に協力するなかで、学部における法学及び心理学領域における教育・研究が脆弱なものとなった。こうした課題、問題点を克服するために、法文学部の教育・研究体制を全面的に見直し、従来の複合学部的な性格を脱するとともに、理系学部を多数有する鹿児島大学の強みをカリキュラムに活かし、人文社会科学系総合学部へと改組することとした。

##### (2) 改組の骨格

従来の3学科(法政策学科、経済情報学科、人文学科)を2学科に再編する。司法政策研究科、教育学部及び学内共同教育研究施設からの教員の移籍、及び学長のリーダーシップの下での人員補充及び従来の学科人員の再配置を行い、社会科学系の1学科(法経社会学科)、人文科学系の1学科(人文学科)の2学科に編成する。

それぞれの学科の下に、学問体系と社会的なニーズに対応した5つのコース(法経社会学科3コース、人文学科2コース)を置く。

法経社会学科の各コースの人材モデルとして、①法学コース 法学・政治学の知見と広範な視野を持ったゼネラリスト、②地域社会コース 地域で学び地域社会の理解を深め、地域づくりに貢献する人材、③経済コース 経済・経営・情報分野の基礎知識と専門知識を持ち、地域の企業や自治体において中核的立場で活躍できる人材を描いている。

人文学科の各コースの人材モデルとして、①多元地域文化コース 地域及び世界の多面的な文化・歴史・環境への深い造詣に基づき、広い視野に立って、地域社会と国際社会の課題を実践的に解決できる人材、②心理学コース 人間の心と行動への深い造詣に基づき、心理的支援によって地域に貢献できる人材、心理学の知見を活用し産業・行政分野で貢献できる人材を描いている。

## II. 教育課程編成の考え方・特色

### (教育課程の基本的な考え方)

#### 1. 段階的・総合的な人文社会科学教育

法文学部は、「南九州唯一の人文社会科学系総合学部として、総合的な観点から人間と社会を深く理解し、グローバル化のなかで急速に変容し様々な困難を抱えている地域社会に主体的積極的に貢献できる人材の育成を目指す」という教育理念のもと、段階的に教育を行うために、教育科目を学生が身につける能力に応じて「基礎」「活用」「実践」の三つの領域に区分する。

##### (1) 「基礎」領域

「基礎」領域は、3つの基礎的教育によって構成されている。

1) 第一の段階が「共通教育科目」であり、鹿児島大学としての基礎教育に当たる。これは、とくに「学び」の基本的スキルを身につける文理融合クラスをもって行う「初年次セミナー」等で大学での「学び」の基礎を修得する。共通教育科目においては、これまで必ずしも明確でなかった共通教育と専門教育の役割分担を明確化し、学生は、共通教育での基本的な学びのスキルの修得を踏まえたうえで、専門教育科目による人文社会科学の学修を進めることとなる。

- 2) 第二の段階が「法文スタンダード科目」であり、法文学部としての基礎教育に当たる。「法文スタンダード科目」(必修, 2単位)は、これまで人文科学と社会科学が個別に行っていた基礎教育を、人文社会科学系総合学部という特性を踏まえて、法文学部に所属する学生が共通に身につけるべき人文社会科学の基礎を学修する科目である。人文社会科学の個別専門領域学習の前提となる、人文社会科学のこれまでの歩みや考え方、今日的な課題との関係等を学ぶ。
- 3) 第三の段階が「学科共通科目」であり、法経社会学科、人文学科の基礎教育に当たる。法経社会学科では、「社会科学基礎」「地域社会を学ぶ」など社会科学の基礎科目を学修する。また、人文学科では、「人文科学基礎」「メディア史概説」など人文科学の基礎科目を学修する。

## (2)「活用」領域

活用領域では、コースに所属した学生が、個別専門領域の基本的な内容を学修しつつ、それらの内容が現在の社会や地域でどのような意味を持つのかを考える力を養う。

人文学科においては、

- 1) 多元地域文化コースでは、地域及び世界の多元的な文化・歴史・環境への深い造詣に基づき、地域社会と国際社会の課題を解決できる人材養成のため、人文科学の基本科目のほか、「多文化交流論」「西洋歴史・文化研究A」「地域フィールド実習」などの科目を配置して、専門領域についての知識を深めると同時に、それらを活用するためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力の育成を図る。
- 2) 心理学コースでは、人間の心と行動への深い造詣に基づき、心理的支援によって地域に貢献できる人材や、心理学の知見を活用し産業・行政分野で貢献できる人材を養成するため、心理学の基本科目のほか、「コミュニティ援助論」「消費者心理学演習」「心理アセスメント実習」などの科目を配置して、心理学の基礎的素養とその知識を適切に生かすための判断力とコミュニケーション力の育成を図る。

## (3)「実践」領域

実践領域では、コースに所属した学生が、個別専門領域の学修を進めるに際して、プロジェクト等による他者との協働や実習による現場感覚の涵養を通して、修得した専門知を具体的な実践に結びつける能力を養う。

人文学科においては、

- 1) 多元地域文化コースでは、地域及び世界の多元的な文化・歴史・環境への深い造詣に基づき、地域社会と国際社会の課題を解決できる人材養成のため、「卒業論文」科目を配置して、グローバル社会が抱える課題を発見し解決する能力の育成を図る。
- 2) 心理学コースでは、人間の心と行動への深い造詣に基づき、心理的支援によって地域に貢献できる人材や、心理学の知見を活用し産業・行政分野で貢献できる人材を養成するため、「コミュニティ心理支援実習」「産業心理支援実習」などの科目を配置して、地域や産業界の心理支援の現場を熟知し、他者と協働し実践できる能力の育成を図る。

## (4) 法文アドバンスト科目 (活用・実践)

「活用」領域、「実践」領域にまたがる学部共通科目として、「法文アドバンスト科目」(選択必修, 6単位)を設定する。「法文アドバンスト科目」は、学生が狭い個別領域の学修に陥ることなく、広い視野を有し、経験に裏打ちされた知識を習得するための科目であり、基礎的な知を応用展開し分野横断的・学際的・文理融合的な知を身につけることを目的とする。

### 1) 地域特性を活かした特色ある科目

「法文アドバンスト科目」では、豊かな自然や歴史遺産を有する鹿児島県の今後の発展のための重要領域に関する「観光学」や「島嶼ツーリズム論」、現場感覚を備えた地域貢献人材を育成するために自治体や地元企業等とも連携した「まちづくり論」「地域科学特殊講義」「マスコミ論」「マスコミ論演習」、特定の課題解決プロジェクトを内容とする「アクティブ・ゼミ」など、地域特性や革新的教育方法を取り入れた科目を提供する。

### 2) 理系科目の学修

「法文アドバンスト科目」では、「自然科学から見る人・文化・社会」や、理学部・農学部・水産学部等の理系学部の協力も得て、理系科目を提供する。法文アドバンスト科目は6単位の選択必修とするが、そのうち2単位以上は法文アドバンスト科目IIを履修することとし、学生は必ず理系科目からも単位を修得する。

## 2. 三つの学びの実現

法文学部の学生が、異なる学科、異なるコースに属しながらも、専門を深く学び、広い視野を身につけ、修得した知識を社会に活かすという三つの学びの要素(「深く学ぶ」、「広く学ぶ」、「学びを活かす」)を、共通教育科目と専門教育科目の有機的な連関のなかで実現する。「深く学ぶ」は「活用」領域に相当し、「広く学ぶ」は「基礎」領域に相当し、「学びを活かす」は「実践」領域と法文アドバンスト科目に相当する。

## 3. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応

法文学部は、ディプロマ・ポリシーとして以下の6項目を設定している。

- 1) 学問を身につけ社会に貢献するために不可欠な幅広い教養と豊かな人間性を身につけている。
  - 2) 人文社会科学の各学問分野を学ぶための総合的な見方と基礎的知識を備え、理系を含む学問分野を横断した幅広い知識を修得している。
  - 3) 人と社会、人と文化に関する論理的・科学的思考力を身につけている。
  - 4) 人文社会科学の知識を踏まえ、地域社会や国際社会における諸課題を適切に解決するための判断力を身につけている。
  - 5) 自ら修得した知識を自らの考えに則して他者に説得的に伝える能力を身につけている。
  - 6) 南九州特有の歴史・文化・社会や高度な専門的職業につながる分野についての知識を修得し、現場を熟知し、他者と協働し実践できる能力を備え、職場、地域社会および国際社会に積極的に貢献する「進取の精神」を身につけている。
- このような能力を身につけた人材を養成するために、1)2)に対応して「基礎」領域の科目が設定され、3)4)に対応して「活用」領域の科目が設定され、5)6)に対応して「実践」領域の科目が設定され、2)6)に対応して「法文アドバンスト科目」が設定されている。

## 4. 法文チャレンジ・プログラムの開設

自らの専門をさらに深めたい学生や自らが所属するコース以外の学問分野を積極的に学ぶ意欲のある学生に対して、4つの法文チャレンジ・プログラム(「司法チャレンジ・プログラム」「地域再生チャレンジ・プログラム」「異文化体験チャレンジ・プログラム」「心理学チャレンジ・プログラム」)を開設する。この科目群は、特定の学問分野について意欲的に学習することを希望する学生のために設定されたもので、卒業要件124単位を超えての学修となることもある。学生の負担を考慮して、一定の履修要件を備えていることを条件に認めるものである。

異文化体験チャレンジ・プログラム		
	科目名	単位数
必修	海外アクティブ実習	2
	東洋史概説	2
選択必修	中国文学概説	2
	アジア歴史・文化研究	2
	アジア言語・文学研究	2
	中国文化研究	2
	アジア農村経済論	2
	東南アジア経済論	2
	文化人類学概説	2
	文化人類学研究	2
	多文化交流論	2
	西洋史概説	2
	現代ヨーロッパ・アメリカ文化論	2
	西洋史	2
	アメリカ文学	2
	イギリス文学	2
	ドイツ語圏文化論	2
	英語学	2
	言語と文化	2
	多文化共生の地域づくり	2

\* プログラム履修要件

① 必修科目「海外アクティブ科目」2単位を修得する。

② 選択必修科目から18単位修得する(重複不可)。

心理学チャレンジ・プログラム		
	科目名	単位数
必修	心理学概論	2
	心理学研究法	2
	心理統計法	2
選択科目	神経科学	2
	比較心理学	2
	認知心理学	2
	学習心理学	2
	発達心理学	2
	臨床心理学	2
	心理査定学	2
	生涯発達心理学	2
	発達臨床心理学	2
	コミュニティ援助論	2
	社会心理学	2
	消費者心理学	2
	説得・交渉心理学	2
	産業・組織心理学	2

\* プログラム履修要件

① 必修は3科目6単位

② 選択科目は6科目12単位以上選択すること

#### 5. 学科の教育課程の特徴

人文学科は、人文科学に関する基礎的体系的な知識の習得と、さらに文系理系に捉われず自らの問題意識と関連した学問分野を横断した幅広い知識の習得を目指す。それらを通して、人と文化に関する論理的・科学的思考力と、多様性に対応したコミュニケーション力をもつて、グローバル化した地域社会＝グローバル社会において人々が抱える諸問題に対して、実践的に対処できる人材の育成を目標としている。この教育目標を達成するため、多元地域文化コースと心理学コースの2コースを設置する。

人文学科では、すべての学生が、1年次に法文スタンダード科目である「人文社会総合論」を履修し、人文科学と社会科学に跨る基礎的な知識を習得する。加えて、1年次に必修科目「人文科学基礎Ⅰ・Ⅱ」を履修し、人文科学を学ぶための基礎的素養・スキルを習得する。2年次以降は、各コースのより専門的な知識・技能の学修を通して、思考力、判断力、表現力を育成する。また、自らの学問的関心や将来の進路に応じて、法文アドバンスト科目に配置された科目を履修し、幅広い教養を身につける。さらに、2コースともに、最終学年の「卒業論文」作成を通して、習得した知識や育成された能力を統合して課題解決に取り組むことにより、総合的実践力の向上を図る。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通教育科目30単位、専門教育科目(基礎)の法文スタンダード科目2単位、「人文科学基礎Ⅰ・Ⅱ」4単位、専門教育科目の法文アドバンスト科目6単位(うち、法文アドバンスト科目Ⅱから2単位以上)、専門教育科目(実践)の必修科目8単位と合わせて各コースは、専門教育科目から以下の単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録上限:50単位(年間)) ・多元地域文化コース 専門教育科目(基礎)の学科共通科目からコース必修の科目4単位(多元・必)を含む10単位、コース指定の専門教育科目(活用)の選択科目から38単位(うち活用2から16単位以上)、自由科目26単位(6単位は他コース・他学科・他学部の授業科目)を修得すること。 ・心理学コース 専門教育科目(基礎)の学科共通科目からコース必修の科目10単位(心理・必)、コース指定の専門教育科目(実践)の選択科目2単位、コース指定の専門教育科目(活用)の選択科目から36単位(うち活用2から12単位以上)、自由科目26単位(6単位は他コース・他学科・他学部の授業科目)を修得すること。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業期間	90分

多元地域文化コース 履修例

共通・専門教育	科目別	必修 選択必修 選択	1年次	2年次	3年次	4年次	単位	
			学習内容					
			共通教育により学びの基礎を身につけるとともに、学部・学科共通科目によって人文社会科学の全体像について把握する。	学科・コース科目によって学修する専門領域の基礎を築くとともに、地域とのかかわりについて把握する。	より専門的・実践的な授業を通して、論理的思考力、実践的判断力及び表現力を向上させる。	これまで学んだことを活用して、卒業論文として完成させる。		
共通教育科目	初年次教育科目	必修	初年次セミナー I				2	
			初年次セミナー II				2	
			大学と地域				2	
			体育・健康科学理論				1	
			体育・健康科学実習				1	
				情報活用				2
	グローバル教育科目	必修	英語 I A・英語 I B	英語 II A・英語 II B				4
			異文化理解入門					2
	教養基礎科目	初修外国語(人文・社会科学分野)	選択必修	初級仏語 I・II				4
		選択科目(人文・社会科学分野)	選択	鹿児島探訪－歴史－				2
選択科目(自然科学分野)		選択	焼酎					4
			遊びと科学					
教養活用科目	統合 I (課題発見)	選択	博物館への誘い				4	
	統合 II (課題解決)	選択	奄美の民俗文化				4	
専門教育科目	基礎	法文スタンダード科目	必修	人文社会総合論				2
		学科共通科目	必修	人文科学基礎 I				4
				人文科学基礎 II				
			必修		多元地域文化コース基礎 I			4
		選択	哲学概説	メディア史概説 芸術文化史概説				6
	活用1	コース科目	選択		表象文化論 ポピュラーカルチャー論 社会言語学 書籍文化研究 哲学研究 A	現代文化論 言語と文化 報道論 西洋歴史・文化研究 A	多文化交流論 現代ヨーロッパ・アメリカ文化研究	22
		活用2	コース科目	選択	芸術文化論演習 メディア論演習 表象文化論演習 1 哲学演習 A 1	ポピュラーカルチャー論演習 1 哲学演習 B 1	現代文化論演習1 表象文化論演習2	16
	実践	コース科目	必修			卒業論文	8	
	自由科目	選択	言語思想史概説 東洋史概説A 社会心理学(他コース)	倫理学概説 西洋史概説 イギリス文学概説 A アメリカ文学概説 A	地誌学概説 考古学概説 A 文化人類学概説 比較民俗学概説 芸術文化デザイン論(他学科)	アートマネジメント論(他学科)	26	
			法文アドバンス科目 I	選択必修		マスコミ論	まちづくり論	4
法文アドバンス科目 II			選択必修		自然科学から見る人・文化・社会		2	

124

法文チャレンジ・プログラム	異文化体験チャレンジ・プログラム	選択	東洋史概説A	西洋史概説 イギリス文学概説 A アメリカ文学概説 A	西洋歴史・文化研究 A 文化人類学概説 多文化共生の地域づくり アジア農村経済論	現代ヨーロッパ・アメリカ文化研究	18
		必修			海外異文化体験実習※		2

\* 赤字の科目は卒業要件単位にも含まれる  
※「海外異文化体験実習」の基礎単位は1単位であるが、2単位分の時間を取る必要がある

心理学コース(コミュニティ心理支援) 履修例

共通・専門教育	科目別	必修 選択必修 選択	学習内容				単位
			1年次	2年次	3年次	4年次	
			共通教育により学びの基礎を身につけるとともに、学部・学科共通科目によって人文社会科学の全体像について把握する。	学科・コース科目によって学修する専門領域の基礎を築くとともに、地域とのかかわりについて把握する。	より専門的・実践的な授業を通して、論理的思考力、実践的判断力及び表現力を向上させる。	これまで学んだことを活用して、卒業論文として完成させる。	
共通教育科目	初年次教育科目	必修	初年次セミナー I				2
			初年次セミナー II				2
			大学と地域				2
			体育・健康科学理論				1
			体育・健康科学実習				1
			情報活用				2
	グローバル教育科目	必修	英語 I A・英語 I B	英語 II A・英語 II B			4
			異文化理解入門				2
	教養基礎科目	初修外国語(人文・社会科学分野)	選択必修	初級仏語 I・II			4
		選択科目(人文・社会科学分野)	選択	鹿児島島の歴史地理			2
選択科目(自然科学分野)		選択	宇宙科学			4	
		選択	行動生態学			4	
教養活用科目	統合 I (課題発見)	選択	キャリアデザイン			4	
	統合 II (課題解決)	選択	国際関係論			4	
専門教育科目	基礎	法文スタンダード科目	必修	人文社会総合論			2
		学科共通科目	必修	人文科学基礎 I			4
			必修	人文科学基礎 II	心理学コース基礎 I		4
			必修		心理学コース基礎 II		4
	選択	心理学概論	心理学研究法			6	
		選択	心理統計法			6	
	活用 1	コース科目	選択	社会心理学 産業・組織心理学 消費者心理学 臨床心理学 心理査定学 生涯発達心理学 コミュニティ援助論	臨床援助論 発達心理学 障害児心理学 発達臨床心理学		22
	活用 2	コース科目	選択	心理学実験実習 心理学アセスメント実習	コミュニティ援助論演習(前期) コミュニティ援助論演習(後期) 心理療法演習	コミュニティ援助論演習(前期) コミュニティ援助論演習(後期)	14
	実践	コース科目	選択必修		コミュニティ心理支援実習		2
			必修			卒業論文	8
	自由科目	選択	人文地理学概説 都市社会学(他学科) 地誌学講義(他コース) 神経科学 比較心理学 認知心理学	地域計画論(他学科) 学習心理学 教育心理学概説 パーソナリティ論 学校心理学	医療関連法 精神医学	26	
	法文アドバンスト科目 I	選択必修		地域心理支援論	現代社会を探る	4	
	法文アドバンスト科目 II	選択必修		自然科学から見る人・文化・社会		2	

※「心理学実験実習」「心理学アセスメント実習」「コミュニティ心理支援実習」の基礎単位は1単位であるが、2単位分の時間を取る必要がある

124

法文チャレンジプログラム	地域再生チャレンジプログラム	選択	人文地理学概説	都市社会学 地誌学講義	地域計画論 多文化共生の地域づくり コミュニティ論 自治体政策論 社会調査	地域づくりとNPO 六次産業化論	20
		必修			フィールド実習 課題レポート作成		3

\* 赤字の科目は卒業要件単位にも含まれる

心理学コース(産業心理支援) 履修例

共通・専門教育	科目別	必修 選択必修 選択	学習内容				単位
			1年次	2年次	3年次	4年次	
			共通教育により学びの基礎を身につけるとともに、学部・学科共通科目によって人文社会科学の全体像について把握する。	学科・コース科目によって学修する専門領域の基礎を築くとともに、地域とのかかわりについて把握する。	より専門的・実践的な授業を通して、論理的思考力、実践的判断力及び表現力を向上させる。	これまで学んだことを活用して、卒業論文として完成させる。	
共通教育科目	初年次教育科目	必修	初年次セミナーⅠ				2
			初年次セミナーⅡ				2
			大学と地域				2
			体育・健康科学理論				1
			体育・健康科学実習				1
			情報活用				2
	グローバル教育科目	必修	英語ⅠA・英語ⅠB 異文化理解入門	英語ⅡA・英語ⅡB			4 2
	教養基礎科目	初修外国語(人文・社会科学分野)	選択必修	初級仏語Ⅰ・Ⅱ			4
		選択科目(人文・社会科学分野)	選択	鹿児島島の歴史地理			2
		選択科目(自然科学分野)	選択	宇宙科学 行動生態学			4
教養活用科目		統合Ⅰ(課題発見) 統合Ⅱ(課題解決)	選択	キャリアデザイン 国際関係論			4
専門教育科目	基礎	学科共通科目	法文スタンダード科目	必修	人文社会総合論		2
			必修	人文科学基礎Ⅰ			4
				人文科学基礎Ⅱ			4
				心理学コース基礎Ⅰ 心理学コース基礎Ⅱ			4
	選択	心理学概論 心理統計法	心理学研究法			6	
	活用1	コース科目	選択	社会心理学 産業・組織心理学 消費者心理学 臨床心理学 心理査定学 生涯発達心理学 コミュニティ援助論	説得・交渉心理学 学習心理学 パーソナリティ論 教育心理学概説		22
	活用2	コース科目	選択	心理学実験実習 心理学アセスメント実習	消費者心理学演習(前期) 消費者心理学演習(後期) 多変量データ解析演習	消費者心理学演習(前期) 消費者心理学演習(後期)	14
	実践	コース科目	選択必修		産業心理支援実習		2
			必修			卒業論文	8
	自由科目	選択	人文地理学概説	都市社会学(他学科) 地誌学講義(他コース) 神経科学 比較心理学 認知心理学	地域計画論(他学科) 臨床援助論 発達心理学 発達臨床心理学 学校心理学	医療関連法 精神医学	26
法文アドバンスト科目Ⅰ	選択必修		地域心理支援論	現代社会を探る		4	
法文アドバンスト科目Ⅱ	選択必修		自然科学から見る人・文化・社会			2	

※「心理学実験実習」「心理学アセスメント実習」「産業心理支援実習」の基礎単位は1単位であるが、2単位分の時間を取る必要がある

124

法文チャレンジ・プログラム	地域再生チャレンジ・プログラム	選択	人文地理学概説	都市社会学 地誌学講義	地域計画論 多文化共生の地域づくり コミュニティ論 自治体政策論 社会調査	地域づくりとNPO 六次産業化論	20
		必修			フィールド実習 課題レポート作成		3

\* 赤字の科目は卒業要件単位にも含まれる

教育課程等の概要(事前伺い)

(既設 法政策学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	初年次教育科目	初年次セミナーⅠ	1前	2			○								兼1	
		初年次セミナーⅡ	1後	2			○								兼1	
		大学と地域	1前・後	2			○								兼10	
		体育・健康科学理論	1後	1			○								兼2	
		体育・健康科学実習	1前	1					○						兼1	
		情報活用	1前	2			○								兼1	
	グローバル教育科目	英語ⅠA・英語ⅠB	1前	2			○								兼1	
		英語ⅡA・英語ⅡB	2後	2			○								兼1	
		異文化理解入門	1前	2			○								兼1	
	日本語・日本事情科目	日本語Ⅰ	1前		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本語Ⅱ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本語Ⅲ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本語Ⅳ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本事情A	1前		2		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本事情B	1後		2		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本事情C	2前		2		○								兼1	外国人留学生のみ
小計(16科目)	—	16	10	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼26	—	
初(人文・外国語・社会科学分野)	初級独語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級仏語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級中国語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級韓国語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級独語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級仏語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級中国語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級韓国語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	小計(8科目)	—	0	16	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼8	—
共通教育科目(教養教育科目)	選択科目(人文・社会科学分野) 教養基礎科目	アラビア入門Ⅰ	1前		1		○								兼1	
		「生き方」としての宗教論	1前		2		○			1					兼1	
		稲盛和夫の経営哲学	1前		2		○								兼1	
		映画論	1前		2		○								兼1	
		関わりあいの心理学	1前		2		○								兼1	
		鹿児島から考える多文化共生	1前		2		○								兼1	
		鹿児島探訪—歴史—	1前		2		○								兼1	
		鹿児島の歴史地理	1前		2		○			1					兼1	
		合唱Ⅰ	1前		1		○								兼1	
		合奏演習Ⅰ	1前		1		○								兼1	
		キャリア・恋人・コミュニケーションの社会学	1前		2		○			1					兼1	
		グローバル人材育成(雲南)	1前		2		○								兼1	
		言語と文化	1前		2		○			1					兼1	
		現代企業経営論	1前		2		○			1					兼1	
		現代の日本政治	1前		2		○						1		兼1	
		行動科学	1前		2		○					1			兼1	
		国際経済学入門	1前		2		○					1			兼1	
		国際私法入門	1前		2		○					1			兼1	
		古代東アジアの王陵	1前		2		○								兼1	
		司法制度論	1前		2		○					1			兼1	
		障害児教育入門	1前		2		○								兼1	
		心理学概論	1前		2		○								兼1	
		森林経済学Ⅰ	1前		2		○								兼1	
		西洋史入門	1前		2		○			1					兼1	
		世界の中のイスラーム	1前		2		○								兼1	
		大学の日本史	1前		2		○			1					兼1	
		地方自治体の課題と政策	1前		2		○				1				兼1	
		著作権とビジネスコンプライアンス	1前		2		○								兼1	
		地理学	1前		2		○								兼1	
		唐代の文学	1前		2		○			1					兼1	
日本国憲法	1前		2		○								兼2			
入門：起業のための人材育成Ⅱ	1前		2		○								兼1			
人間と環境の心理学	1前		2		○								兼1			





共通教育科目(教養教育科目)	教養活用科目	統合Ⅰ(課題発見)	女性学入門	1後	2				○									兼1
		進取の精神: その現在・過去・未来	1後	2					○									
			人生における出会いの意義と役割	1後	2				○									兼1
			全人的歯科医療実践学	1後	2				○									兼1
			大学生のための社会人基礎力入門	1後	2				○									兼1
			男女共同参画とキャリアデザイン	1後	2				○									兼1
			小計(30科目)	—	60	0	0	—			1	0	0	0	0	0	0	兼59
		統合Ⅱ(課題解決)	奄美の民俗文化	1前	2				○									兼1
			イスラームの多様性に学ぶ	1前	2				○									兼1
			稲盛和夫のリーダー論	1前	2				○									兼1
			かごしまフィールドスクール	1前	2				○									兼1
			鹿児島探訪—環境—	1前	2				○									兼1
			鹿児島探訪—文化—	1前	2				○		1							兼1
			環境と進化の科学	1前	2				○									兼1
			がんはなぜおこるのか	1前	2				○									兼1
			口と顔の科学	1前	2				○									兼1
			国際異文化交流Ⅰ	1前	2				○									兼1
			国際関係論	1前	2				○									兼1
			国際協力体験講座—タイコース—	1前	2				○									兼1
			国際協力体験講座—ミャンマーコース—	1前	2				○									兼1
			最先端医療を創出するバイオ研究	1前	2				○									兼1
			自然学校インターンシップⅠ	1前	2				○									兼1
			自然学校へ行こう!	1前	2				○									兼1
			実践キャリアデザイン	1前	2				○									兼1
			シラス地域学	1前	2				○									兼1
			滞在者のためのコミュニケーションスキル: 中国編	1前	2				○									兼1
			短期派遣留学Ⅰ	1前	1					○								兼1
			短期派遣留学Ⅱ	1前	1					○								兼1
			地域環境論	1前	2				○									兼1
			地域防災学実践Ⅰ	1前	2				○									兼1
			南米における進取の気風研修計画	1前	2				○									兼1
			ピアカウンセリング入門	1前	2				○									兼1
			東アジア社会の共通課題は何か?	1前	2				○									兼1
			ヒトの身体の仕組みと働き	1前	2				○									兼1
			ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅰ	1前	2				○									兼1
			北米におけるグローバル人材育成	1前	2				○									兼1
			南太平洋多島域	1前	2				○									兼1
			屋久島の環境文化Ⅰ—植生—	1前	2				○									兼1
			屋久島の環境文化Ⅲ—産業—	1前	2				○									兼1
			有機農業Ⅰ 新しい食と農のかたち	1前	2				○									兼1
			有機農業Ⅲ 田んぼでアウトドア	1前	2				○									兼1
			留学生のための異文化理解	1前	2				○									兼1
			奄美の民俗文化	1後	2				○									兼1
			いのちと地域を守る防災学Ⅱ	1後	2				○									兼1
			英語によるグローバル人材育成	1後	2				○									兼1
			海外研修基礎コースinカリフォルニア	1後	2				○									兼1
			海外研修基礎コースin東南アジア	1後	2				○									兼1
			海外研修基礎コースinハワイ	1後	2				○									兼1
			鹿児島探訪—環境—	1後	2				○									兼1
			鹿児島探訪—循環型社会と世界遺産—	1後	2				○									兼1
			鹿児島探訪—地域産業—	1後	2				○									兼1
			鹿児島の四季 キャンパス俳句会	1後	2				○									兼1
			環境ビジネス2	1後	2				○									兼1
			九州の古墳文化	1後	2				○									兼1
			共生のためのフェア・トレード	1後	2				○									兼1
			共生のためのフェア・トレードⅡ	1後	2				○									兼1
			口と顔の科学	1後	2				○									兼1
			健康を創り、守る	1後	2				○									兼1
			国際異文化交流Ⅱ	1後	2				○									兼1
			国際感覚を持つバイテク人材育成	1後	2				○									兼1
			国際協力論	1後	2				○									兼1
			自己理解・他者理解と障害理解	1後	2				○									兼1
			自然学校インターンシップⅡ	1後	2				○									兼1
			自然環境保全と世界遺産	1後	2				○									兼1
			島のしくみ	1後	2				○									兼1
			短期派遣留学Ⅰ	1後	1					○								兼1
			短期派遣留学Ⅱ	1後	1					○								兼1
			地域就業キャリアデザイン	1後	2				○									兼1
			地域防災学実践Ⅱ	1後	2				○									兼1
			ピアカウンセリング入門	1後	2				○									兼1



(法政策学科) 専門科目	現代文化論	3前		2		○								兼1
	小計(74科目)	-	0	156	0			26	23	0	0	0		兼16
	演習	3前・後	4				○	12	12					兼10
	課題研究	4前・後	4					12	12					兼4
	小計(2科目)	-	8	0	0			24	24	0	0	0		兼14
教科に関する科目	政治史	2前		2		○		1						
	法史学	2後		2		○								兼1
	日本経済史	2後		2		○			1					
	市民社会思想史 I	2前		2		○		1						
	市民社会思想史 II	2後		2		○		1						
	経済史入門	3後		2		○				1				
	歴史のなかの社会学	3後		2		○		1						
	司法制度論	1前		2		○					1			
	憲法統治	2前		2		○					1			
	憲法人権 I	1前		2		○					1			
	憲法人権 II	1後		2		○					1			
	行政法総論 I	2前		2		○					1			
	行政法総論 II	2後		2		○					1			
	国家補償法	3前		2		○					1			
	行政争訟法	3前		2		○					1			
	地方自治法	3後		2		○					1			
	政治学	2前		2		○		1						
	刑法総論 I	2前		2		○					1			
	刑法総論 II	2後		2		○					1			
	刑法各論 I	2後		2		○					1			
	刑法各論 II	3前		2		○					1			
	刑事訴訟法 I	2後		2		○		1						
	刑事訴訟法 II	3前		2		○		1						
	民法総則	1後		2		○					1			
	物権法 I	2前		2		○		1						
	物権法 II	2後		2		○		1						
	債権法 I	2前		2		○								兼1
	債権法 II	2後		2		○		1						兼1
	債権法 III	3前		2		○								
	家族法	2前		2		○					1			
	環境法	2後		2		○		1						
	社会保障法	2後		2		○		1						
	会社法 I	2後		2		○		1						
	会社法 II	3前		2		○		1						
	商取引法 I	3前		2		○		1						
	商取引法 II	3後		2		○		1						
	有価証券法	3後		2		○		1						
	民事訴訟法 I	2後		2		○		1						
	民事訴訟法 II	3前		2		○		1						
	民事執行・保全法	3後		2		○		1						
	倒産法	3後		2		○		1						
	租税法	3前		2		○		1						
	国際私法	2前		2		○					1			
	国際取引法	2後		2		○					1			
	国際関係論	2前		2		○		1						
	英米法	2前		2		○		1						
	法哲学	3後		2		○								兼1
	法社会学	2後		2		○		1						
	社会学概論	1前		2		○		1						
	経済学概論	1後		2		○					1			
	哲学概論	2・3・4前		2		○								
	倫理学概説	1後		2		○								
マクロ経済学 I	1前		2		○		1							
ミクロ経済学 I	1前		2		○		1							
マクロ経済学 II	1後		2		○		1							
ミクロ経済学 II	1後		2		○		1							
経済原論	1後		2		○		1							
統計作成論	1前		2		○		1							
統計利用論	1後		2		○		1							
財政政策論 I	2前		2		○					1				
財政政策論 II	2前		2		○					1				
日本経済論	3前		2		○					1				
家族社会学	1後		2		○									
現代社会と地域社会	2後		2		○									
国際経済学 I	2前		2		○					1				
国際経済学 II	2後		2		○					1				
経済政策論 I	2前		2		○					1				
経済政策論 II	2後		2		○					1				
東南アジア経済論	2前		2		○		1							
経済地理学	2後		2		○		1							
地域計量分析	3後		2		○		1							
社会問題と社会意識	2後		2		○		1							



教育課程等の概要(事前伺い)															
(既設 経済情報学科)															
科 目 区 分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	初年次教育科目	初年次セミナーⅠ	1前	2			○								兼1
		初年次セミナーⅡ	1後	2			○								兼1
		大学と地域	1前・後	2			○								兼10
		体育・健康科学理論	1後	1			○								兼2
		体育・健康科学実習	1前	1					○						兼1
		情報活用	1前	2			○								兼1
	グローバル教育科目	英語ⅠA・英語ⅠB	1前	2			○								兼1
		英語ⅡA・英語ⅡB	2後	2			○								兼1
		異文化理解入門	1前	2			○								兼1
	日本語・日本事情科目	日本語Ⅰ	1前		1		○								兼1
		日本語Ⅱ	1後		1		○								兼1
		日本語Ⅲ	1後		1		○								兼1
		日本語Ⅳ	1後		1		○								兼1
		日本事情A	1前		2		○								兼1
		日本事情B	1後		2		○								兼1
		日本事情C	2前		2		○								兼1
小計(16科目)	—	16	10	0				0	0	0	0	0	0	兼26	
初(人文・外国語・社会科学分野)	初級独語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	初級仏語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	初級中国語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	初級韓国語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	初級独語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	初級仏語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	初級中国語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	初級韓国語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	小計(8科目)	—	0	16	0				0	0	0	0	0	0	兼8
共通教育科目(教養教育科目)	選択科目(人文・社会科学分野)	アラビア入門Ⅰ	1前		1		○								兼1
		「生き方」としての宗教論	1前		2		○			1					兼1
		稲盛和夫の経営哲学	1前		2		○								兼1
		映画論	1前		2		○								兼1
		関わりあいの心理学	1前		2		○								兼1
		鹿児島から考える多文化共生	1前		2		○								兼1
		鹿児島探訪-歴史-	1前		2		○								兼1
		鹿児島の歴史地理	1前		2		○			1					兼1
		合唱Ⅰ	1前		1		○								兼1
		合奏演習Ⅰ	1前		1		○								兼1
		キャリア・恋人・コミュニケーションの社会学	1前		2		○			1					兼1
		グローバル人材育成(雲南)	1前		2		○				1				兼1
		言語と文化	1前		2		○			1					兼1
		現代企業経営論	1前		2		○			1					兼1
		現代の日本政治	1前		2		○								兼1
		行動科学	1前		2		○				1				兼1
		国際経済学入門	1前		2		○				1				兼1
		国際私法入門	1前		2		○				1				兼1
		古代東アジアの王陵	1前		2		○								兼1
		司法制度論	1前		2		○				1				兼1
		障害児教育入門	1前		2		○								兼1
		心理学概論	1前		2		○								兼1
		森林経済学Ⅰ	1前		2		○								兼1
		西洋史入門	1前		2		○			1					兼1
		世界の中のイスラーム	1前		2		○								兼1
		大学の日本史	1前		2		○			1					兼1
		地方自治体の課題と政策	1前		2		○				1				兼1
		著作権とビジネスコンプライアンス	1前		2		○								兼1
		地理学	1前		2		○								兼1
		唐代の文学	1前		2		○			1					兼1
日本国憲法	1前		2		○								兼3		
入門：起業のための人材育成Ⅱ	1前		2		○								兼1		
人間と環境の心理学	1前		2		○								兼1		



共通教育科目(教養教育科目)	教養基礎科目	選択科目(自然科学分野)	生物とリズム	1前	2	○															兼1			
			生命と物理	1前	2	○																	兼1	
			相対論を学ぶ	1前	2	○																	兼1	
			データ解析への入門	1前	2	○																	兼1	
			動物の生態と社会	1前	2	○																	兼1	
			動物の病気	1前	2	○																	兼1	
			入門物理 I	1前	2	○																	兼1	
			乗り物の物理学	1前	2	○																	兼1	
			Fisheries and Fisheries Sciences	1前	2	○																	兼1	
			分子生物学入門	1前	2	○																	兼1	
			身近な話題の生物学	1前	2	○																	兼1	
			無機化学入門	1前	2	○																	兼1	
			ものづくり入門	1前	2	○																	兼1	
			遊びと科学	1後	2	○																	兼1	
			新しい物質観	1後	2	○																	兼1	
			医学・脳科学入門	1後	2	○																	兼1	
			医学生物学	1後	2	○																	兼1	
			依頼・介入関係の基礎理念	1後	2	○																	兼1	
			宇宙の利用	1後	2	○																	兼1	
			科学技術論	1後	2	○																	兼1	
			基礎溶液化学	1後	2	○																	兼1	
			教養線形代数学	1後	2	○																	兼1	
			健康管理	1後	2	○																	兼1	
			細胞生物学入門	1後	2	○																	兼1	
			実験医学・脳科学	1後	2	○																	兼1	
			焼酎	1後	2	○																	兼1	
			情報数学 I	1後	2	○																	兼1	
			食品・化粧品・医薬品の有機化学	1後	2	○																	兼1	
			植物学入門	1後	2	○																	兼1	
			植物生態学	1後	2	○																	兼1	
			初心者のためのパル生物学	1後	2	○																	兼1	
			森林科学	1後	2	○																	兼1	
			水圏環境保全科学	1後	2	○																	兼1	
			水産食品科学	1後	2	○																	兼1	
			水産増養殖学	1後	2	○																	兼1	
			スポーツサイエンス	1後	2	○																	兼1	
			スポーツ実習(バドミントン)	1後	1																		兼1	
			生化学実験 I	1後	2																		兼1	
			生命と炭素化合物	1後	2	○																	兼1	
			生命科学	1後	2	○																	兼1	
			生命科学情報活用 I	1後	2	○																	兼1	
			地球と環境	1後	2	○																	兼1	
			DNAの科学	1後	2	○																	兼1	
			電気電子工学入門	1後	2	○																	兼1	
			身近な科学	1後	2	○																	兼1	
			小計(64科目)	—	0	127	0	—															兼26	—
			共通教育科目(教養教育科目)	教養活用科目	統合 I (課題発見)	いのちと地域を守る防災学 I	1前	2	○															兼1
かごしま教養プログラム	1前	2				○																兼1		
環境ビジネス I	1前	2				○																1		
キャリアデザイン	1前	2				○																	兼1	
グローバル・インシアティブ概論	1前	2				○																	兼1	
グローバル社会を生きる	1前	2				○																	兼1	
自然学校へ移行 実践論 I	1前	2				○																	兼1	
実用英語短期講座 16	1前	2				○																	兼1	
社会人としての救急措置入門	1前	2				○																	兼1	
人生における出会いの意義と役割	1前	2				○																	兼1	
生命化学への招待	1前	2				○																	兼1	
大学生のための社会人基礎力入門	1前	2				○																	兼1	
大学で学ぶ	1前	2				○																	兼1	
地球環境保全のための国際協力	1前	2				○																	兼1	
博物館へのいざない	1前	2				○																	兼1	
防災フィールドワーク	1前	2				○																	兼1	
鹿児島島の地域に学ぶ	1後	2				○																	兼1	
鹿児島大学に学ぶ	1前	2				○																	兼1	
キャリアデザイン	1後	2				○																	兼1	
グローバル・インシアティブ概論	1後	2				○																	兼1	
現代社会と大学	1後	2				○																	兼1	
自然学校へ移行 実践論 II	1後	2				○																	兼1	
手話入門	1後	2				○																	兼1	
消費者教育	1後	2	○																	兼1				

共通教育科目（教養教育科目）	教養活用科目	統合Ⅰ（課題発見）	女性学入門	1後	2				○										兼1	
		進取の精神：その現在・過去・未来	1後	2					○											兼1
			人生における出会いの意義と役割	1後	2				○										兼1	
			全人的歯科医療実践学	1後	2				○										兼1	
			大学生のための社会人基礎力入門	1後	2				○										兼1	
			男女共同参画とキャリアデザイン	1後	2				○										兼1	
			小計（30科目）	—	60	0	0		—		1	0	0	0	0	0	0	0	兼59	—
		統合Ⅱ（課題解決）	奄美の民俗文化	1前	2				○										兼1	
			イスラームの多様性に学ぶ	1前	2				○										兼1	
			稲盛和夫のリーダー論	1前	2				○										兼1	
			かごしまフィールドスクール	1前	2				○										兼1	
			鹿児島探訪－環境－	1前	2				○										兼1	
			鹿児島探訪－文化－	1前	2				○		1								兼1	
			環境と進化の科学	1前	2				○										兼1	
			がんはなぜおこるのか	1前	2				○										兼1	
			口と顔の科学	1前	2				○										兼1	
			国際異文化交流Ⅰ	1前	2				○										兼1	
			国際関係論	1前	2				○										兼1	
			国際協力体験講座－タイコース－	1前	2				○										兼1	
			国際協力体験講座－ミャンマーコース－	1前	2				○										兼1	
			最先端医療を創出するバイオ研究	1前	2				○										兼1	
			自然学校インターンシップⅠ	1前	2				○										兼1	
			自然学校へ行こう！	1前	2				○										兼1	
			実践キャリアデザイン	1前	2				○										兼1	
			シラス地域学	1前	2				○										兼1	
			滞在者のためのコミュニケーションスキル：中国編	1前	2				○										兼1	
			短期派遣留学Ⅰ	1前	1					○									兼1	
			短期派遣留学Ⅱ	1前	1					○									兼1	
			地域環境論	1前	2				○										兼1	
			地域防災学実践Ⅰ	1前	2				○										兼1	
			南米における進取の気風研修計画	1前	2				○										兼1	
			ピアカウンセリング入門	1前	2				○										兼1	
			東アジア社会の共通課題は何か？	1前	2				○										兼1	
			ヒトの身体の仕組みと働き	1前	2				○										兼1	
			ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅰ	1前	2				○										兼1	
			北米におけるグローバル人材育成	1前	2				○										兼1	
			南太平洋多島域	1前	2				○										兼1	
			屋久島の環境文化Ⅰ－植生－	1前	2				○										兼1	
			屋久島の環境文化Ⅲ－産業－	1前	2				○										兼1	
			有機農業Ⅰ 新しい食と農のかたち	1前	2				○										兼1	
			有機農業Ⅲ 田んぼでアウトドア	1前	2				○										兼1	
			留学生のための異文化理解	1前	2				○										兼1	
			奄美の民俗文化	1後	2				○										兼1	
			いのちと地域を守る防災学Ⅱ	1後	2				○										兼1	
			英語によるグローバル人材育成	1後	2				○										兼1	
			海外研修基礎コースinカリフォルニア	1後	2				○										兼1	
			海外研修基礎コースin東南アジア	1後	2				○										兼1	
			海外研修基礎コースinハワイ	1後	2				○										兼1	
			鹿児島探訪－環境－	1後	2				○										兼1	
			鹿児島探訪－循環型社会と世界遺産－	1後	2				○										兼1	
			鹿児島探訪－地域産業－	1後	2				○										兼1	
			鹿児島の四季 キャンパス俳句会	1後	2				○										兼1	
			環境ビジネス2	1後	2				○										兼1	
			九州の古墳文化	1後	2				○										兼1	
			共生のためのフェア・トレード	1後	2				○										兼1	
			共生のためのフェア・トレードⅡ	1後	2				○										兼1	
			口と顔の科学	1後	2				○										兼1	
			健康を創り、守る	1後	2				○										兼1	
			国際異文化交流Ⅱ	1後	2				○										兼1	
			国際感覚を持つバイテク人材育成	1後	2				○										兼1	
			国際協力論	1後	2				○										兼1	
			自己理解・他者理解と障害理解	1後	2				○										兼1	
			自然学校インターンシップⅡ	1後	2				○										兼1	
			自然環境保全と世界遺産	1後	2				○										兼1	
			島のしくみ	1後	2				○										兼1	
			短期派遣留学Ⅰ	1後	1					○									兼1	
			短期派遣留学Ⅱ	1後	1					○									兼1	
			地域就業キャリアデザイン	1後	2				○										兼1	
			地域防災学実践Ⅱ	1後	2				○										兼1	
			ピアカウンセリング入門	1後	2				○										兼1	

共通 教育科目 (教養教育科目)	教養 活用科目	統一 II (課題 解決)	ヒトの病気の成り立ちと予防II	1後	2														兼1	
			放射線の世界	1後	2															兼1
			森・ひと・体験	1後	2														兼1	
			屋久島の環境文化II-生き物-	1後	2														兼1	
			屋久島の環境文化IV-生活と文化-	1後	2														兼1	
			有機農業II 有機農業入門	1後	2														兼1	
			留学生のための異文化理解	1後	2														兼1	
			小計(70科目)	-	136	0	0	-		1	0	0	0	0	0	0	0	0	兼69	-
専門 科目 (経済 情報 学科)			経済学史	2・3・4前	4														兼1	
			経済学概論	1・2・3・4後	4														兼1	
			経済原論	1・2・3・4後	4						1									
			景気変動論	2・3・4後	4						1									
			市民社会思想史I	2・3・4前	2						1									
			市民社会思想史II	2・3・4前	2						1									
			比較社会保障論	2・3・4後	2														兼1	
			マクロ経済学	1・2・3・4後	4						1									
			ミクロ経済学	1・2・3・4前	4						1									
			経済学と数学A	1・2・3・4前	2						1									
			経済学と数学B	1・2・3・4後	2						1									
			国民経済計算	2・3・4前	2						1									
			地域計量分析	2・3・4後	4						1									
			統計学総論	1・2・3・4前	4						1									
			経済統計論	2・3・4後	2						1									
			数理統計学	1・2・3・4後	2						1									
			日本経済史	1・2・3・4前	4							1								
			日本経済論	2・3・4後	2							1								
			世界経済史	2・3・4前	4														兼1	
			アジア・ラテンアメリカ経済史	2・3・4後	2														兼1	
			金融論	2・3・4前	4						1									
			銀行論	2・3・4前	2						1									
			経営管理論	2・3・4前	2							1								
			経営財務論	2・3・4後	2							1								
			意思決定論	2・3・4後	2							1								
			国際経営論	2・3・4後	2							1								
			企業論	2・3・4後	2							1								
			会計学総論	2・3・4前	2							1								
			簿記システム論	1・2・3・4後	4							1								
			経営情報論	2・3・4後	2						1									
			データベース論	2・3・4後	2						1									
			システム設計	2・3・4前	2							1								
			システム監査論	2・3・4前	2							1								
			システム監査実習	2・3・4後	1							1								
			システム構築実習	2・3・4後	1							1								
			オペレーティングシステム論	2・3・4前	2							1								
			情報ネットワーク論	2・3・4前	2						1									
			情報マネジメント	2・3・4前	2															
			ベンチャー企業論	2・3・4後	2															
			経営学総論	2・3・4後	4						1									
			経営戦略論	2・3・4前	2						1									
			管理会計論	2・3・4前	2						1									
			原価計算論	2・3・4前	2						1									
			会計情報論	2・3・4前	2						1									
			情報社会論	2・3・4前	2						1									
			集団と組織の社会学	2・3・4後	2							1								
			都市社会学	2・3・4前	4															兼1
			社会調査とまちづくり	2・3・4後	2															兼1
			現代社会の意識	2・3・4後	4															兼1
			社会意識論	2・3・4前	2															兼1
			経済政策論	2・3・4前	4							1								
			総合政策論	2・3・4後	2							1								
		地域政治論	2・3・4後	2						1										
		現代政治史	2・3・4前	4						1										
		地域計画論	2・3・4前	2						1										
		農業政策論	2・3・4後	2						1										
		農業の国際化と農産物貿易	2・3・4後	2						1										
		社会学概論	1・2・3・4前	2						1										
		歴史のなかの社会学	2・3・4後	2						1										
		消費者としての現代	2・3・4後	2						1										
		現代社会論	2・3・4後	2						1										
		財政学総論	2・3・4前	4						1										
		国際化と租税調整	2・3・4後	2						1										
		分権化と自治体財政	2・3・4後	2						1										
		福祉社会学	2・3・4後	4						1										
		家族社会学	2・3・4後	2						1										
		国際経済システム論	2・3・4後	4							1									
		伝統社会のシステム論	2・3・4前	2							1									
		比較協同組合論	2・3・4前	2															兼1	
		労務関係論	2・3・4後	2															兼1	
		労働経済論	2・3・4後	2															兼1	
		比較社会運動史	2・3・4前	2															兼1	
		資源経済学	2・3・4前	2															兼1	
		国際関係論	2・3・4前	2						1										
		民族・地域紛争論	2・3・4後	2						1										
		現代政治外交論	2・3・4後	2															兼1	

専門科目（経済情報学科）	国際行動論	2・3・4後	2		○			1						兼1	
	東南アジア経済論	2・3・4前	2		○			1							
	アジア農村論	2・3・4後	2		○			1							
	国際貿易投資論	2・3・4後	4		○			1							
	国際金融論	2・3・4前	2		○			1							
	東アジア・中国経済論	2・3・4後	2		○				1						
	環境経済学	2・3・4前	4		○				1						
	経済地理学	2・3・4後	2		○			1							
	貨幣論	2・3・4前	2		○									兼1	
	商学総論	2・3・4後	4		○						1				
	職業指導	2・3・4前	2		○									兼1	
	比較社会システム論	2・3・4後	2		○									兼1	
	情報コミュニケーションⅠ	2・3・4後	2		○									兼1	
	情報コミュニケーションⅡ	2・3・4前	2		○			1							
	英語圏の社会事情Ⅰ	2・3・4前	2		○									兼1	
	英語圏の社会事情Ⅱ	2・3・4後	2		○			1							
	ドイツ語圏の社会事情Ⅰ	2・3・4前	2		○									兼1	
	ドイツ語圏の社会事情Ⅱ	2・3・4前	2		○			1							
	国際カルチャーⅠ	2・3・4後	2		○			1							
	国際カルチャーⅡ	2・3・4前	2		○									兼1	
	実用英語Ⅰ	2・3・4前	2		○			1							
	実用英語Ⅱ	2・3・4後	2		○									兼1	
	実用英語Ⅲ	2・3・4前	2		○			1							
	実践英語Ⅰ	2・3・4前	2		○									兼1	
	実践英語Ⅱ	2・3・4後	2		○									兼1	
	特殊講義	2	2		○			1							
	フィールド実習	2前	1				○	2							
	小計（103科目）	0	0	167			—	55	20	3	0	0	0	兼26	—
	基礎演習	基礎演習	1前	2			○	5	4	1					
		演習	2前	8			○	17	8	1					
		外国書研究	2後	4		○		9	3						
		特殊研究	4後	6		○		17	8						
		エンドユーザ実習Ⅰ	1前	1			○	1	1	1				兼1	
エンドユーザ実習Ⅱ		1後	1			○	1	1					兼1		
エンドユーザ実習Ⅲ		1後	1			○	1	1							
小計（7科目）	0	23			—	50	26	3	0	0	0	兼2	—		
教科に関する科目	政治史	2前	2		○		1								
	法史学	2後	2		○								兼1		
	日本経済史	2後	2		○			1							
	市民社会思想Ⅰ	2前	2		○		1								
	市民社会思想Ⅱ	2後	2		○		1								
	歴史のなかの社会学	3後	2		○		1								
	司法制度論	1前	2		○			1							
	憲法統治	2前	2		○			1							
	憲法人権Ⅰ	1前	2		○			1							
	憲法人権Ⅱ	1後	2		○			1							
	行政法総論Ⅰ	2前	2		○			1							
	行政法総論Ⅱ	2後	2		○			1							
	国家補償法	3前	2		○			1							
	行政争訟法	3前	2		○			1							
	地方自治法	3後	2		○			1							
	政治学	2前	2		○		1								
	刑法総論Ⅰ	2前	2		○			1							
	刑法総論Ⅱ	2後	2		○			1							
	刑法各論Ⅰ	2後	2		○			1							
	刑法各論Ⅱ	3前	2		○			1							
	刑事訴訟法Ⅰ	2後	2		○		1								
	刑事訴訟法Ⅱ	3前	2		○		1								
	民法総則	1前	2		○			1							
	物権法Ⅰ	2前	2		○		1								
	物権法Ⅱ	2後	2		○		1								
	債権法Ⅰ	2前	2		○									兼1	
	債権法Ⅱ	2後	2		○		1								
	債権法Ⅲ	3前	2		○									兼1	
	家族法	2前	2		○			1							
	環境法	2後	2		○		1								
	社会保障法	2後	2		○		1								
	会社法Ⅰ	2後	2		○		1								
	会社法Ⅱ	3前	2		○		1								
	商取引法Ⅰ	3前	2		○		1								
	商取引法Ⅱ	3後	2		○		1								
	有価証券法	3後	2		○		1								
	民事訴訟法Ⅰ	2後	2		○		1								
	民事訴訟法Ⅱ	3前	2		○		1								
	民事執行・保全法	3後	2		○		1								
	倒産法	3後	2		○		1								
	租税法	3前	2		○		1								
国際私法	2前	2		○				1							
国際取引法	2後	2		○				1							
国際法	2前	2		○				1							



## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設 人文学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	初年次教育科目	初年次セミナーⅠ	1前	2			○								兼1	
		初年次セミナーⅡ	1後	2			○								兼1	
		大学と地域	1前・後	2			○								兼10	
		体育・健康科学理論	1後	1			○								兼2	
		体育・健康科学実習	1前	1					○						兼1	
		情報活用	1前	2			○								兼1	
	グローバル教育科目	英語ⅠA・英語ⅠB	1前	2			○								兼1	
		英語ⅡA・英語ⅡB	2後	2			○								兼1	
		異文化理解入門	1前	2			○								兼1	
	日本語・日本事情科目	日本語Ⅰ	1前		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本語Ⅱ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本語Ⅲ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本語Ⅳ	1後		1		○								兼1	外国人留学生のみ
		日本事情A	1前		2		○								兼1	外国人留学生のみ
日本事情B		1後		2		○								兼1	外国人留学生のみ	
日本事情C		2前		2		○								兼1	外国人留学生のみ	
小計(16科目)	—	16	10	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼26	—	
(人文・社会科学分野)初修外国語	初級独語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級仏語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級中国語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級韓国語Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	初級独語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級仏語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級中国語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	初級韓国語Ⅱ	1後		2		○								兼1		
小計(8科目)	—	0	16	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼8	—	
共通教育科目(教養教育科目)	選択科目(人文・社会科学分野)教養基礎科目	アラビア入門1	1前		1		○								兼1	
		「生き方」としての宗教論	1前		2		○				1				兼1	
		稲盛和夫の経営哲学	1前		2		○								兼1	
		映画論	1前		2		○								兼1	
		関わりあいの心理学	1前		2		○								兼1	
		鹿児島から考える多文化共生	1前		2		○								兼1	
		鹿児島探訪-歴史-	1前		2		○								兼1	
		鹿児島の歴史地理	1前		2		○				1				兼1	
		合唱Ⅰ	1前		1		○								兼1	
		合奏演習Ⅰ	1前		1		○								兼1	
		キャリア・恋人・コミュニケーションの社会学	1前		2		○				1				兼1	
		グローバル人材育成(雲南)	1前		2		○					1			兼1	
		言語と文化	1前		2		○					1			兼1	
		現代企業経営論	1前		2		○					1			兼1	
		現代の日本政治	1前		2		○								兼1	
		行動科学	1前		2		○					1			兼1	
		国際経済学入門	1前		2		○					1			兼1	
		国際私法入門	1前		2		○					1			兼1	
		古代東アジアの王陵	1前		2		○								兼1	
		司法制度論	1前		2		○					1			兼1	
		障害児教育入門	1前		2		○								兼1	
		心理学概論	1前		2		○								兼1	
		森林経済学Ⅰ	1前		2		○								兼1	
		西洋史入門	1前		2		○					1			兼1	
		世界の中のイスラーム	1前		2		○								兼1	
		大学の日本史	1前		2		○					1			兼1	
		地方自治体の課題と政策	1前		2		○						1		兼1	
		著作権とビジネスコンプライアンス	1前		2		○								兼1	
		地理学	1前		2		○								兼1	
		唐代の文学	1前		2		○					1			兼1	
日本国憲法	1前		2		○								兼3			
入門：起業のための人材育成Ⅱ	1前		2		○								兼1			
人間と環境の心理学	1前		2		○								兼1			





	共通教育科目 教養活用科目	統合Ⅰ (課題発見)	女性学入門	1後	2				○										兼1	
			進取の精神：その現在・過去・未来	1後	2					○										
			人生における出会いの意義と役割	1後	2				○										兼1	
			全人的歯科医療実践学	1後	2				○										兼1	
			大学生のための社会人基礎力入門	1後	2				○										兼1	
			男女共同参画とキャリアデザイン	1後	2				○										兼1	
			小計(30科目)	—	60	0	0		—		1	0	0	0	0			兼59	—	
		統合Ⅱ (課題解決)	奄美の民俗文化	1前	2				○										兼1	
			イスラームの多様性に学ぶ	1前	2				○										兼1	
			稲盛和夫のリーダー論	1前	2				○										兼1	
			かごしまフィールドスクール	1前	2				○										兼1	
			鹿児島探訪ー環境ー	1前	2				○										兼1	
			鹿児島探訪ー文化ー	1前	2				○		1								兼1	
			環境と進化の科学	1前	2				○										兼1	
			がんはなぜおこるのか	1前	2				○										兼1	
			口と顔の科学	1前	2				○										兼1	
			国際異文化交流Ⅰ	1前	2				○										兼1	
			国際関係論	1前	2				○										兼1	
			国際協力体験講座ータイコースー	1前	2				○										兼1	
			国際協力体験講座ーミャンマーコースー	1前	2				○										兼1	
			最先端医療を創出するバイオ研究	1前	2				○										兼1	
			自然学校インターンシップⅠ	1前	2				○										兼1	
			自然学校へ行こう!	1前	2				○										兼1	
			実践キャリアデザイン	1前	2				○										兼1	
			シラス地域学	1前	2				○										兼1	
			滞在者のためのコミュニケーションスキル：中国編	1前	2				○										兼1	
			短期派遣留学Ⅰ	1前	1					○									兼1	
			短期派遣留学Ⅱ	1前	1					○									兼1	
			地域環境論	1前	2				○										兼1	
			地域防災学実践Ⅰ	1前	2				○										兼1	
			南米における進取の気風研修計画	1前	2				○										兼1	
			ピアカウンセリング入門	1前	2				○										兼1	
			東アジア社会の共通課題は何か?	1前	2				○										兼1	
			ヒトの身体の仕組みと働き	1前	2				○										兼1	
			ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅰ	1前	2				○										兼1	
			北米におけるグローバル人材育成	1前	2				○										兼1	
			南太平洋多島域	1前	2				○										兼1	
			屋久島の環境文化Ⅰー植生ー	1前	2				○										兼1	
			屋久島の環境文化Ⅲー産業ー	1前	2				○										兼1	
			有機農業Ⅰ 新しい食と農のかたち	1前	2				○										兼1	
			有機農業Ⅲ 田んぼでアウトドア	1前	2				○										兼1	
			留学生のための異文化理解	1前	2				○										兼1	
			奄美の民俗文化	1後	2				○										兼1	
			いのちと地域を守る防災学Ⅱ	1後	2				○										兼1	
			英語によるグローバル人材育成	1後	2				○										兼1	
			海外研修基礎コースinカリフォルニア	1後	2				○										兼1	
			海外研修基礎コースin東南アジア	1後	2				○										兼1	
			海外研修基礎コースinハワイ	1後	2				○										兼1	
			鹿児島探訪ー環境ー	1後	2				○										兼1	
			鹿児島探訪ー循環型社会と世界遺産ー	1後	2				○										兼1	
			鹿児島探訪ー地域産業ー	1後	2				○										兼1	
			鹿児島の四季 キャンパス俳句会	1後	2				○										兼1	
			環境ビジネス2	1後	2				○										兼1	
			九州の古墳文化	1後	2				○										兼1	
			共生のためのフェア・トレード	1後	2				○										兼1	
			共生のためのフェア・トレードⅡ	1後	2				○										兼1	
			口と顔の科学	1後	2				○										兼1	
			健康を創り、守る	1後	2				○										兼1	
			国際異文化交流Ⅱ	1後	2				○										兼1	
			国際感覚を持つバイテク人材育成	1後	2				○										兼1	
			国際協力論	1後	2				○										兼1	
			自己理解・他者理解と障害理解	1後	2				○										兼1	
			自然学校インターンシップⅡ	1後	2				○										兼1	
			自然環境保全と世界遺産	1後	2				○										兼1	
			島のしくみ	1後	2				○										兼1	
			短期派遣留学Ⅰ	1後	1					○									兼1	
			短期派遣留学Ⅱ	1後	1					○									兼1	
			地域就業キャリアデザイン	1後	2				○										兼1	
			地域防災学実践Ⅱ	1後	2				○										兼1	
			ピアカウンセリング入門	1後	2				○										兼1	

共通教育科目 (教養教育科目)	教養活用科目 統合Ⅱ(課題解決)	ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅱ	1後	2			○										兼1		
		放射線の世界	1後	2			○											兼1	
		森・ひと・体験	1後	2			○										兼1		
		屋久島の環境文化Ⅱー生き物ー	1後	2			○										兼1		
		屋久島の環境文化Ⅳー生活と文化ー	1後	2			○										兼1		
		有機農業Ⅱ 有機農業入門	1後	2			○										兼1		
		留学生のための異文化理解	1後	2			○										兼1		
		小計(70科目)	—	136	0	0	—			1	0	0	0	0	0	0	兼69	—	
専門科目(人文学科)	学科共通科目 フ・プログラム	人文学入門	1前	2			○			22	17	1						学科必 オムニバス	
		人文学基礎1	1前	2			○			22	17	1						学科必 共同	
		人文学基礎2	1後	2			○			22	17	1						学科必 共同	
		小計(3科目)	—	6	0	0	○			22	17	3	0	1					
	キャリア プログラム	人文学の実践	2・3・4後		2			○		22	17	1							オムニバス
		心理のしごと	2・3・4後		2			○		1	3	1							オムニバス
		メディア論入門	2前		2			○		2	3								オムニバス
		地域と環境	2・3・4前		2			○		2	1								オムニバス
		ことばを磨く	2・3・4前		2			○		5	3								オムニバス
		異文化理解	2・3・4後		2			○		9	3								オムニバス
		海外短期留学 法文総合科目	2・3・4前 2・3・4前・後		4			○	○	2	1							兼3	共同
	小計(7科目)	—	0	16	0	○			22	17	3	0	1				兼3		
	人間と文化コース科目 アカデミック・プログラム	心理学概論	2前		2			○			1	1							オムニバス
		心理学研究法	2後		2			○			1								
認知心理学		3前		2			○			1									
学習心理学		2・4前		2			○			1									
比較行動心理学		3後		2			○		1										
発達心理学		2・4後		2			○		1										
産業・組織心理学		3後		2			○				1								
社会心理学		2・4後		2			○				1								
臨床援助論		3後		2			○				1								
臨床心理学		2・4後		2			○				1								
コミュニティ援助論		3前		2			○											兼1	
人格心理学		2・4前		2			○											兼3	
児童文化論		2後		2			○											兼1	
人間関係論		2・4前		2			○											兼1	
心理学特講		2前		2			○											兼1	
生命の倫理		3・4前		2			○											兼1	
環境の倫理		2・3後		2			○											兼1	
宗教文化論		2・3・4後		2			○			1		1							
現代メディア文化論		2・4前		2			○			1									
社会言語学		2・3・4前		2			○			1									
哲学概論		2・3・4後		2			○			1		1							
倫理学概説		2・3・4後		2			○			1									
文化人類学		2・3・4後		2			○			1									
現代文化論	3前		2			○			1										
心理療法演習	2前		2				○										兼2		
認知心理学演習	3前		2				○			1									
比較行動心理学演習	3前		2				○		1										
社会心理学演習	3前		2				○			1	1								
臨床援助論演習	3前		2				○			1									
臨床心理学演習	3前		2				○										兼2		
心理学統計演習	2前		2				○		1										
心理学実験1	2後		2				○		1	3	1								
心理学実験2	3前		2				○		1	3	1								
精神医学	2前		2				○										兼1		
小計(34科目)	—	0	9	0	—				8	11	3	0	1				兼14		
	卒業科目		8				○		1	3	1							学科必	
	人間と文化コース基礎演習1	2前	2				○			2								コース必 オムニバス	
	人間と文化コース基礎演習2	2後	2				○		1	1	1							コース必 オムニバス	
	小計(3科目)	—	9	0	0	—			2	6	2	0	0						
メディアと現代文化コース科目 アカデミック・プログラム	哲学概論	2・3・4後		2			○			1	1								
	現代文化論	3前		2			○			1									
	現代メディア文化論	2・4前		2			○			1									
	キャリアと現代文化	2・3・4前		2			○			1									
	映像文化論	2・3・4後		2			○				1								
	言語と文化	2・3・4後		2			○			1									
	社会言語学	2・3・4前		2			○			1									
	表象文化論	2・3・4前		2			○				1								
	デジタル文化論	2・3・4後		2			○				1								
	ポピュラーカルチャー論	2前		2			○				1								
	アメリカ文学	2・3・4後		2			○			1									
	産業・組織心理学	3後		2			○					1							
	社会心理学	2・4後		2			○					1							
	認知心理学	3前		2			○					1							
学習心理学	2・4前		2			○					1								
児童文化論	3前		2			○											兼1		

メディアと現代文化 コース科目	人間関係論	2・4前	2		○														兼1		
	地域研究論	2・3・4前	2		○				1										兼1		
	芸術の思想	2・4前	2		○																
	現代文化論演習	2前	2						1												
	現代メディア文化論演習	2後	2						1												
	言語と文化演習	4前	2						1												
	社会言語学演習	2・3前	2						1												
	表象文化論演習	2・3・4前	2								1										
	デジタル文化論演習	2・3・4後	2								1										
	ポピュラーカルチャー論演習	3前	2								1										
	メディアと文化演習	2・3・4後	2																		
	文化リサーチ演習	1・2・3・4前	2							2										共同	
	マスコミ論演習	2前	2									1									
	映像制作演習	2前	2									1									
	小計(30科目)	0	0	60	0					8	11	1	0	0					兼3		
	卒業科目		8			○				2	3									学科必 コース必 共同	
	メディアと現代文化コース基礎演習1	3前	2				○				3									共同	
	メディアと現代文化コース基礎演習2	3後	2				○				3									共同	
	小計(3科目)	-	12	0	0					2	9	0	0	0							
	比較地域環境 コース科目	人文地理学概説	2・3・4前	2		○					1										
		自然地理学概説	2・3・4後	2		○					1										
地誌学講義		2・3・4後	2		○					1											
テーマ地理学		2前	2		○					1											
テーマ地誌学		2前	2		○					1											
考古学概論		1・2・3・4前	2		○					1											
考古学地域論		2前	2		○																
考古学講義		2前	2		○						1										
比較考古学		2前	2		○																
物質文化研究		2前	2		○					1											
比較民俗学概説		1・2・3前	2		○																
比較民俗学		2・3・4後	2		○																
比較文明論		2・3・4前	2		○					1											
文化人類学		2・3・4後	2		○					1											
宗教文化論		2・3・4後	2		○						1										
地域研究論		2・3・4前	2		○					1											
環境の倫理		2・3後	2		○																
産業・組織心理学		3後	2		○									1							
社会心理学		2・4後	2		○						1										
言語と文化		2・3・4後	2		○					1											
日本社会史		2前	2		○																
アジア社会史		2前	2		○					1											
西洋の歴史と社会B		2・3・4前	2		○					1											
地理学演習		2・3・4後	2		○							2									
人文地域論演習		2・3・4前	2		○						1										
考古学演習		2前	2		○						1										
物質文化論演習		2前	2				○			1											
比較文明論演習		2前	2				○			1											
文化人類学演習		2前	2				○			1											
宗教文化論演習		2前	2				○					1									
地域研究論演習		2前	2				○			1											
フィールド学実験(エリアーズ)		2・3・4後	2					○		1	1										
フィールド学実習(エリアーズ)		2・3・4前	1					○		1	1										
フィールド学実験(地理学)		2・3・4前	2					○			2										
フィールド学実験(考古学)	2前	2					○		1	1											
フィールド学実験(文化人類学)	2・3・4後	2					○		1	1											
フィールド学実習(地理学)	2・3・4後	1					○			2											
フィールド学実習(考古学)	2・3・4前	1					○		1	1											
フィールド学実習(文化人類学)	2・3・4前	1					○		1	1											
博物館実習	4前	3					○		1												
小計(39科目)	-	0	59	0					8	11	1	0	0					兼6			
卒業科目		8			○				4	4									学科必 コース必 共同		
比較地域環境コース基礎演習1	2前	2				○				2									共同		
比較地域環境コース基礎演習2	4後	2				○				3									共同		
小計(3科目)	-	12	0	0					4	9	0	0	0								
日本とアジア コース科目	日本史概説	2・3・4前	2		○				2												
	日本国制史	2・3・4後	2		○				1												
	日本文化史	2前	2		○				1												
	日本社会史	2前	2		○																
	日本文学史	2・3・4後	2		○				2												
	日本古典文学	2前	2		○																
	日本近世文学	2前	2		○				1												
	日本近代文学	2前	2		○						1										
	国語学概論	2前	2		○				1												
	日本語構造論	2・3・4後	2		○				1												
	言語と文化	2・3・4後	2		○				1												
	映像文化論	2・3・4後	2		○						1										
	東洋史概説	2前	2		○				1	1											
	アジア文化史	2・3・4前	2		○				1												
	アジア社会史	2前	2		○				1												



教科に関する科目

日本語学概説A	1後	2	○			1				兼1	中・国、高・国
日本語学概説B	1後	2	○			1					中・国、高・国
日本語学研究A	2前	2	○			1					中・国、高・国
日本語学研究B	2後	2	○								中・国、高・国
日本語学演習A 1	2前	2		○		1					中・国、高・国
日本語学演習B 1	2後	2		○		1					中・国、高・国
言語と文化	2前	2		○		1					中・国、高・国
言語と文化演習	2後	2			○	1					中・国、高・国
日本文学史概説A	1後	2		○		1					中・国、高・国
日本文学史概説B	1後	2		○				1			中・国、高・国
日本古典文学研究A	2前	2		○						兼1	中・国、高・国
日本古典文学研究B	2前・後	2		○		1					中・国、高・国
日本近現代文学研究A	2前	2		○				1			中・国、高・国
日本近現代文学研究B	2後	2		○				1			中・国、高・国
日本古典文学演習A1	2前	2			○	1					中・国、高・国
日本古典文学演習B1	2後	2			○	1					中・国、高・国
日本近現代文学演習A1	2前	2			○			1			中・国、高・国
日本近現代文学演習B1	2後	2			○			1			中・国、高・国
日本古典文学リテラシー実習	2前	2				1			○		中・国、高・国
中国文学概説A	1前	2		○		1					中・国、高・国
中国文学概説B	1前	2		○		1					中・国、高・国
中国文学研究	2後	2		○		1					中・国、高・国
中国文学演習A1	2前	2			○	1					中・国、高・国
中国文学演習B1	2後	2			○	1					中・国、高・国
書道実習	2前	1							○	兼1	中・国
日本史概説	1前	2		○		2				兼1	中・社、高・地歴
東洋史概説A	1前	2		○				1			中・社、高・地歴
東洋史概説B	1後	2		○		1					中・社、高・地歴
西洋史概説	1前	2		○		1					中・社、高・地歴
考古学概説A	1前	2		○		1					中・社、高・地歴
考古学概説B	1前	2		○				1			中・社、高・地歴
考古学研究A	2前・後	2		○		1					中・社、高・地歴
考古学研究B	2前・後	2		○				1			中・社、高・地歴
考古学研究C	2前・後	2		○				1		兼1	中・社、高・地歴
日本歴史・文化研究A	2後	2		○		1					中・社、高・地歴
日本歴史・文化研究B	2後	2		○		1					中・社、高・地歴
アジア歴史・文化研究A	2後	2		○				1			中・社、高・地歴
アジア歴史・文化研究B	2前	2		○		1					中・社、高・地歴
西洋歴史・文化研究A	2前	2		○		1					中・社、高・地歴
西洋歴史・文化研究B	2後	2		○		1					中・社、高・地歴
日本歴史・文化演習A 1	2前・後	2			○	1					中・社、高・地歴
日本歴史・文化演習B 1	2前・後	2			○	1					中・社、高・地歴
アジア歴史・文化演習A 1	2前・後	2			○			1			中・社、高・地歴
アジア歴史・文化演習B 1	2前・後	2			○	1					中・社、高・地歴
アジア歴史・文化演習C 1	2前	2			○	1		1			中・社、高・地歴
西洋歴史・文化演習A 1	2前・後	2			○	1					中・社、高・地歴
西洋歴史・文化演習B 1	2前・後	2			○	1					中・社、高・地歴
古文書実習A	2前	2				1			○		中・社、高・地歴
古文書実習B	2前	2				1			○		中・社、高・地歴
人文地理学概説	1前	2		○				1			中・社、高・地歴
自然地理学概説	1後	2		○				1			中・社、高・地歴
地誌学概説	1後	2		○				1			中・社、高・地歴
地理学講義A	2前	2		○				1			中・社、高・地歴
地理学講義B	2後	2		○				1			中・社、高・地歴
地誌学講義	2後	2		○				1			中・社、高・地歴
文化人類学概説	1前	2		○		1					中・社、高・地歴
比較民俗学概説	1後	2		○				1		兼1	中・社、高・地歴
文化人類学研究	2後	2		○		1		1			中・社、高・地歴
地理学演習A 1	2前	2			○			1			中・社、高・地歴
地理学演習B 1	2後	2			○			1			中・社、高・地歴
地理学実習	2前	1						2			中・社、高・地歴
地理学実習	2前・後	1						2			中・社、高・地歴
哲学概説	1前	2		○				1			中・社、高・公民
倫理学概説	1後	2		○		1					中・社、高・公民
哲学研究A	2前	2		○		1					中・社、高・公民
哲学研究B	2後	2		○				1			中・社、高・公民
哲学演習A 1	2前・後	2			○	1					中・社、高・公民
哲学演習B 1	2前・後	2			○			1			中・社、高・公民
ポピュラーカルチャー論	2前	2		○				1			中・社、高・公民
現代文化論	2前	2		○		1					中・社、高・公民
メディア史概説	1前	2		○				1			中・社、高・公民
芸術文化史概説	1後	2		○				1			中・社、高・公民
表象文化論	2後	2		○				1			中・社、高・公民
報道論	2前	2		○				1			中・社、高・公民
現代文化論演習 1	2前・後	2			○	1					中・社、高・公民
芸術文化論演習	2後	2			○			1			中・社、高・公民
メディア論演習	2前	2			○			1			中・社、高・公民
表象文化論演習 1	2後	2			○			1			中・社、高・公民
ポピュラーカルチャー論演習 1	2前	2			○			1			中・社、高・公民
報道論演習 1	2前・後	2			○			1			中・社、高・公民

